

令和 7 年度 事業報告書

目 次

令和 7 年度 事業報告書

1	事業概要	1
2	事業実施状況	4
基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築		
推進項目 1 地域における総合的な支え合い活動の創出		
	(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築	4
	(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	18
推進項目 2 市町村における総合的な相談支援体制の強化		
	(1) 権利擁護体制の構築	23
	(2) 生活困窮者等への支援	31
	(3) 社会福祉法人等の連携強化	43
基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着		
推進項目 1 福祉人材の確保に向けた取組の強化		
	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	54
	(2) 福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援	62
推進項目 2 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化		
	(1) 福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進	71
基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化		
推進項目 1 災害に備えた体制の整備		
	(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化	82
	(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんま DWA T）の機能強化	87
推進項目 2 災害ボランティア活動への支援		
	(1) 多様な災害ボランティア関係団体との連携	95
	(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	96
推進項目 3 感染症に対応した体制の整備		
	(1) 感染症発生時の社会福祉施設への支援	100

（２）感染症予防に向けた取組の強化……………	100
------------------------	-----

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

推進項目１ 組織体制の強化

（１）人材育成の強化……………	102
-----------------	-----

（２）働き方改革の推進……………	103
------------------	-----

（３）情報発信の強化……………	104
-----------------	-----

推進項目２ 経営基盤の強化

（１）財政基盤の強化と既存事業の見直し……………	105
--------------------------	-----

（２）ガバナンスの強化……………	106
------------------	-----

（３）関係団体との連携強化……………	109
--------------------	-----

第３期 群馬県社会福祉協議会

活動推進計画（2021年度～2025年度）評価一覧……………	112
--------------------------------	-----

令和 7 年度 事業報告書

1 事業概要

本会では、地域福祉を取り巻く環境や多様化・複雑化する地域課題に対応していくため、令和 5 年度に中間見直しを実施した第 3 期活動推進計画に基づき、2040 年の目指す姿を展望しつつ、令和 7 年度の各種事業を展開した。

基本目標 I 包括的な支援体制の構築

●市町村における包括的支援体制の構築の推進

県内における包括的支援体制の構築が促進されるよう、県独自の評価指標について県と協議するとともに、研修会や情報交換会等の企画実施を通じて市町村及び市町村社協の取組を体系的に支援した。情報交換会は、ブロック別で計 36 回、ブロック合同で計 3 回実施した。

●市町村社協の組織基盤の強化

包括的支援体制の中核を担う市町村社協の人材育成を図るため、「群馬県内市町村社協職員の階層別能力開発体系」に基づく研修を実施した。

また、市町村社協の経営改善に向けた取組みを推進するため、令和 6 年度に実施した経営実態調査に基づく経営上の課題等について、検討・情報交換を実施した。

●企業等との連携・協働の強化

地域共生社会の実現に向けて、企業や民間団体との協働を推進するため、本会内の「企業等 SDGs 活動支援センター」の機能を活性化させ、企業等と地域における福祉活動や福祉関係者、団体等との「マッチング支援」をはじめ、企業等の福祉活動を継続的にサポートとする「相談支援」、企業等の取組事例などの「情報発信」等を行った。令和 7 年度は、情報交換会及びセミナーを各 1 回実施した。

また、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応するため、企業等と地域社会づくりに向けた包括連携協定を締結し、相互連携と協働による活動を推進した。令和 7 年度は、県内企業 3 社と協定締結し、協定締結数は全体で 24 件となった。

●生活困窮者支援の強化

生活困窮者自立支援法に基づく 3 事業（自立相談、就労準備、家計改善）を一体的に実施するとともに、事業間で相互補完的・連続的な支援を実施した。

また、住まいに課題を抱える生活困窮者等に対し、総合的な相談支援から見守り支援・地域とのつながり促進などの居住支援を一貫して実施する等、支援の拡充を図った。

相談支援の実績は、新規相談件数 580 件、自立支援プランの作成は 249 件、居住支援相談件数 122 件となっている。

●生活福祉資金特例貸付における借受人へのフォローアップ支援の強化

本会内に県内各圏域を担当する相談支援員を新たに配置し、アウトリーチによる訪問活動を通じた生活支援や生活状況調査を実施することで、償還免除や償還猶予の申請増加やその他関係機関の支援に繋ぐことができた。なお、訪問件数は、償還免除者を対象に 3,368 名となっている。

また、市町村社協と協議を重ね、フォローアップ支援の取組を事業化する方針を決定し、令和8年度より「生活福祉資金（特例貸付）フォローアップ支援事業」として、償還免除者に限らず全借受人を対象とした取組の強化を図ることとした。

●孤独・孤立対策の推進

孤独・孤立対策の推進に向けて、シンポジウムの開催や SNS 等を活用した情報発信により社会機運の醸成を図るとともに、県域における「官民連携プラットフォーム」の運営や専用ホームページ（ポータルサイト）を運用する等、行政、支援者、関係者間の連携・協働を促進した。

また、孤独・孤立に対する理解や意識を社会全体で高めていくため、「つながりサポーター」養成講座を実施して、新たに282名を養成した。県内各地区で実施したことより、身近な地域における実施に向けた基盤整備を進めた。

●権利擁護体制の整備

市町村における権利擁護体制の整備を推進するため、中核機関の機能強化に向けた支援を行うとともに、市町村社協の法人後見の取組を支援した。

また、入院入所の手続き支援や死後事務といった頼れる身寄りがいない高齢者等に対する支援等の課題について検討や研修を行い、制度の狭間の課題に対する市町村行政や社協職員の理解促進を図った。

●子ども・若者支援の強化

複合化・複雑化した課題を抱え、困難な状況の中で生活している子どもや若者等に対する支援を拡充するため、「ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク」の事務局を担い、子ども・若者支援フォーラムや支援者の資質向上を目的とした研修会、情報交換会の実施等を通じ、支援団体及び個人の連携・協働体制の構築を図った。

なお、令和7年度は講演会、情報交換会等を計6回開催し、令和7年度末現在のネットワーク会員数は、35法人・個人となっている。

●社会福祉法人等への支援強化

県域では「群馬県ふくし総合相談支援事業」を実施するとともに、市町村域においては「社会福祉法人等連絡会」の設置支援や設置済の連絡会等による情報交換会を通じて、社会福祉法人の地域における公益的な取組に関する支援を行い、社会福祉法人の連携を進めた。

なお、群馬県ふくし福祉相談における令和7年度の相談件数は440件となっており、法人連絡会設置市町村は20市町村となっている。

また、福祉サービスの質の向上に向けて、第三者評価事業において評価調査者養成研修を実施し評価調査者の質の向上を図るとともに、プレ評価事業を広く実施することで、本評価の受審促進を図った。本評価では、障害者・児福祉関係で5施設、プレ評価では、高齢者関係で4施設、障害者・児福祉関係で3施設の受審があった。

基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着

●「福祉人材センター」における取組の強化

福祉人材の確保が喫緊の課題になっている中、関係機関と連携して、次世代に向けた魅力発信や他分野からの参入促進を図った。

また、こどもまんなか社会の実現に向けて、潜在保育士の意識調査及び再就職の意向のある方の掘り起こしなど、段階的な職場復帰支援を実施し、保育人材の確保を促進するとともに、インクルーシブ保育等の新たな考え方や実践を学べる機会を提供した。

さらに、群馬県外国人福祉人材雇用状況調査を実施し、介護分野だけでなく障害分野を含めて、群馬県内の外国人福祉人材の雇用状況を把握した。

福祉人材無料職業紹介所における令和7年度の採用及び求人・求職相談実績は、359名の採用、求人・求職相談は合わせて14,519件となっている。

基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化

●「災害福祉支援センター」による取組の促進

平時からの福祉支援体制の基盤整備を進めていくため、社会福祉施設等の「事業継続計画（BCP）」や事業継続マネジメント（BCM）、市町村が中心となって取り組む「個別避難計画」の策定支援に一層努めるとともに、「福祉避難所」の体制整備を進めた。

また、災害時に備えた取り組みとして、県内5ブロックにおいて災害ボランティアセンター設置運営・資機材プラットフォームを軸に地域の協働・連携体制を強化し、平時からの災害支援体制の基盤整備を促進した。

なお、BCPの策定支援及びBCPに基づくシミュレーションを県内10か所で実施するとともに、本会においても令和8年3月にBCPの基づき安否確認を含む訓練を実施した。

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

●組織体制の強化

第3期活動推進計画の達成状況について関係機関・団体へのアンケートを行うとともに、その結果等を踏まえ、2026年度から5か年を計画期間とする第4期活動推進計画を策定した。

また、電子決裁をはじめ、文書管理や電子給与明細、勤怠システムの運用によるペーパーレス化の推進に加え、事務所内をフリーアドレス化し、働きやすく風通しの良い職場環境整備を進め、部署間の連携強化を図った。

●情報発信の強化

機関誌「福祉ぐんま」の発行やホームページによる情報発信に加え、FacebookとInstagramを新たに開設し、SNSを中心に多様な層への情報発信を強化したことで、フォロワー数の増加に繋がり、本会の取組に対する認知度向上において一定の成果を得た。

2 事業実施状況

基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築

推進項目1 地域における総合的な支え合い活動の創出

(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築

地域生活課題を住民の支え合いにより解決する仕組みづくりを推進した。

①住民の支え合い活動の育成

(ア) 生活支援体制整備事業

地域における生活支援等の支え合い体制を構築・推進するため、生活支援コーディネーターの研修、各市町村等からの事業推進に対する相談対応、ブロック別情報交換会等を実施することにより市町村の生活支援体制整備事業を支援した。

(a) 生活支援体制整備事業基礎研修会

※講師等関係者の敬称は略

期日・場所等	内 容
5月26日 前橋市 参加者83名	説明①「生活支援体制整備事業について」 講師 群馬県健康福祉部福祉局介護高齢課 認知症・地域支援係 主事 大川 雄大 説明②「生活支援コーディネーターと協議体に期待されること」 講師 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主事 清水 典子 事例報告①「生活支援コーディネーターと協議体の関係について」 発表 みどり市社会福祉協議会 係長 鈴木 美幸 事例報告②「居場所の立ち上げと協議体の関わり方」 発表 大泉町社会福祉協議会 福祉活動専門員 鈴木 理聖

(b) ブロック別情報交換会等

ブロック	内 容
中部ブロック	8回開催
西部ブロック	12回開催
東部ブロック	7回開催
利根・沼田ブロック	5回開催
吾妻ブロック	4回開催
中部・東部ブロック 合同情報交換会 8月27日 前橋市	・事例発表 (前橋市、太田市、吉岡町) ・グループ別情報交換会
西部・利根沼田 ブロック合同 情報交換会 9月19日 沼田市	・各市町村取組紹介 ・グループ別情報交換会
ブロック幹事会 前橋市 2月16日 参加者17名	・ブロック別情報交換会について、各ブロックの開催状況・内容について ・県内における生活支援体制整備の推進に向けて ・情報交換

(c) 生活支援体制整備事業フォローアップ研修会

期日・場所等	内 容
2月2日 前橋市 参加者 84 名	講義「生活支援体制整備事業における地域をつなぐ二つの力 ～生活支援コーディネーターと行政の役割～」 講師 公益社団法人国民健康保険中央会 企画部企画調査課 併予防接種システム準備室 併事業・研修課 課長代理 澤 美杉 パネルディスカッション ファシリテーター 公益社団法人国民健康保険中央会 企画部企画調査課 併予防接種システム準備室 併事業・研修課 課長代理 澤 美杉 助言者 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子 事例発表①「前橋市の生活支援体制整備事業について」 発表 前橋市長寿包括ケア課地域包括ケア推進係 小林 寛子 前橋市社会福祉協議会 地域福祉係 須田 亜依 前橋市社会福祉協議会 地域福祉係 高橋 大輝 事例発表②「助け合い創出 育てるサービス ～住民とともに作ったカタチ～」 発表 大阪府太子町社会福祉協議会 貝長 誉之 グループワーク・発表

(d) 生活支援体制整備事業アドバイザー派遣

派遣市町村・期日等	内 容
渋川市 4月9日 参加者 5 名 6月25日 参加者 79 名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「お互い様の助け合い！みんなでつくる地域づくり！」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
下仁田町 6月26日 参加者 5 名 8月5日 参加者 17 名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 下仁田・馬山特別おしゃべり会 講義「お互い様の心でつなぐ地域の輪」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
邑楽町 7月9日 参加者 4 名 8月7日 参加者 56 名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「お互い様の心でつなぐ地域の輪」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子

派遣市町村・期日等	内 容
伊勢崎市 8月4日 参加者5名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
8月21日 参加者15名	生活支援コーディネーター（SC）について 助け合い体験カードゲーム 事前質問へのアドバイス 意見交換 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
富岡市 7月16日 参加者5名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
8月25日 参加者60名	講演「生活支援体制整備事業～みんなで支え合う地域づくり～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
東吾妻町 9月1日 参加者4名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
10月14日 参加者43名	講演「それ居場所かも～多様な居場所づくりの実践から～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
桐生市 10月8日 参加者5名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
12月12日 参加者60名	講演「これからの協議体お互いさまで支えあい」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
大泉町 1月28日 参加者5名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
2月27日 参加者52名	講演「協議体ってなんだろう～小さな支え合いのまちづくりに～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
伊勢崎市 2月13日 参加者5名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言
3月24日 参加者164名	講演「支え合い活動の振り返りとこれから」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子

(e) 生活支援体制整備事業視察研修会

期日・場所等	内 容
12 回実施 参加者 36 名 (延べ)	視察受け入れ先 (4 市町) ①第 1 層協議体 ・高崎市 1 か所 (1 回) ②第 2 層協議体 ・高崎市 3 か所 (3 回) ・渋川市 2 か所 (3 回) ・大泉町 1 か所 (1 回) ③支え合い活動 ・高崎市 1 か所 (1 回) ・渋川市 2 か所 (1 回) ・明和町 1 か所 (2 回)

(f) 生活支援共創プラットフォーム運営事業ファシリテーター派遣

派遣市町村・期日等	内 容
8 月 7 日 前橋市 参加者 8 名	関係者打合せ
8 月 21 日 上野村 参加者 24 名	事業説明・お困りごとアンケート説明
10 月 8 日 前橋市 参加者 8 名	関係者打合せ
10 月 15 日 神流町 参加者 17 名	生活支援共創プラットフォーム交流会について (地域課題検討会)
11 月 4 日 前橋市 参加者 8 名	関係者打合せ (お困りごとアンケート回答の検討)
11 月 13 日 下仁田町 参加者 19 名	生活支援共創プラットフォーム交流会について (地域課題検討会)
11 月 20 日 前橋市 参加者 8 名	関係者打合せ (交流会検討)
2 月 5 日 甘楽町 参加者 18 名	交流会振り返り
2 月 13 日 前橋市 参加者 8 名	令和 7 年度生活支援体制整備事業西部ブロック情報交換会における振り返りと来年度の本事業に関する打合せ

(g) 生活支援共創プラットフォーム交流会

期日・場所等	内 容
1 月 14 日 藤岡市 参加者 56 名	事業説明 「市町村における「生活支援体制整備事業」および 「ぐんま高齢者生活支援共創プラットフォーム」について」 群馬県健康福祉部 福祉局 介護高齢課 事例報告 事例報告① 【甘楽町】シルク de カフェ 甘楽町社会福祉協議会 山田 剛 事例報告② 【富岡市】墓石業者が運営するサロン 富岡市高齢介護課 高橋 多恵 田村 早希 事例報告③ 【下仁田町】身近なお店で集いの輪 下仁田町福祉課 小井土 恵利子 下仁田町社会福祉協議会 茂木 弥生 事例報告④ 【高崎市】地域のスーパーアピタで集いの場 「ふれあいの場アピタ」 高崎市長寿社会課 横山 真平 情報交換

(イ) 地域共生社会の実現に向けた取り組み促進事業

(a) 包括的支援体制整備に関する研修会等

期日・場所等	内 容
9 月 8 日 前橋市 参加者 28 名	講義・演習「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 の構築について」 講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己
9 月 9 日 前橋市 参加者 26 名	講義・演習「重層的支援会議に活用できる全方位型アセスメントの 理解と事例検討会の具体的進行」 講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己
11 月 12 日 前橋市 (web 開催) 参加者 16 名	「重層的支援体制整備事業及び移行準備事業に係る情報交換会」 重層的支援体制整備事業・移行準備事業に関する情報交換
1 月 15 日 前橋市 参加者 42 名	「包括的な支援体制整備に係る情報交換会」 行政説明・質疑応答「包括的な支援体制整備の今後の展開について」 講師 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室/地域共生社会推進室 室長 南 孝徳 包括的な支援体制整備に係る情報交換

(ウ) ふれあいいきいきサロン研修会

県内5ブロック（中部、吾妻、利根・沼田、西部、東部）にて参集開催

期日・場所等	内 容
吾妻ブロック 8月29日 嬭恋村 参加者48名	レクリエーション研修 講師：NPO 法人ソーシャルグッド 吉田 大祐
中部ブロック 9月12日 前橋市 参加者342名	① サロン実践者発表 伊勢崎市内サロンふれあいの居場所 のどかお茶のみ会 ② 講義・レクリエーション研修 講師：群馬県レクリエーション協会 今井 美子
利根・沼田ブロック 10月29日 沼田市 参加者79名	講義・レクリエーション研修 講師：群馬県レクリエーション協会 田中 智恵子
西部ブロック 11月28日 高崎市 参加者353名	①サロン実践者発表 高崎アコーディオンサークル「スカイローズ」 ふれあいサロン「あっどっこいしょ」 ②講義・レクリエーション研修 講師：群馬県レクリエーション協会 田中 智恵子
東部ブロック 2月12日 桐生市 参加者145名	①サロン実践者発表 第8区 地域サロン ②講義・レクリエーション研修 講師：群馬県レクリエーション協会 稲山 宏一

(エ) ふれあいいきいきサロン活動調査（令和7年6月1日時点）

ふれあい・いきいきサロンの設置状況を把握するために調査を実施した。

年度	高齢者	障害者	子育て	その他	合 計
2025	2147	18	244	60	2,469
2024	2,066	27	231	63	2,387
2023	1,993	31	235	66	2,325
2022	2,031	22	236	58	2,347
2021	2,158	19	268	84	2,529

(オ) 孤独・孤立対策推進事業

孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残されない地域づくりを推進するため、官民連携プラットフォーム構築と各種事業を実施した。

プラットフォーム入会数 147団体

(a) 官民連携プラットフォーム幹事会

期日・場所等	内 容
第1回 4月24日 前橋市 参加者19名	・R6年度事業報告、R7事業計画（案） ・シンポジウムについて 等
第2回 9月22日 前橋市 参加者11名	・R7研修会・交流会 ・PF入会状況 ・R8年度の取組み 等
第3回 3月18日 前橋市 参加者13名	・R8年度の方針 ・幹事団体の任期・PF設置要綱（改正案）について 等

(b) 群馬県孤独・孤立対策強化月間イベント「オンライン講演会」

期日・場所等	内 容
5月26日 前橋市 (web開催) 申込者数67名	講演「ひとりじゃないよ「若者と孤独・孤立」」 講師 植草学園大学副学長 教授 野澤 和弘

(c) つながりサポーター養成講座の開催

福祉なんでも相談事業と連携し、県内5か所において開催した。

期日・場所等	内 容
6月24日 沼田市 参加者50名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人尾瀬長寿会・特別養護老人ホーム桜花苑 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 星野 駿人
6月27日 高崎市 参加者51名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人二之沢愛育会・障害者支援施設大地 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 中曽根 隆久 社会福祉法人はるな郷・かつら荘 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 下山 雄二
7月1日 中之条町 参加者33名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人薫英会・ワークショップくんえい (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 五十嵐 寛
7月7日 太田市 参加者56名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人光徳会・ロータスヴィレッジ (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 須永 桂

期日・場所等	内 容
7月9日 前橋市 参加者 92 名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人恩賜財団済生会・群馬県済生会前橋病院 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 池田 瑞保

(d) 群馬県孤独・孤立対策 支援者向け研修会

期日・場所等	内 容
12月5日 前橋市 参加者 47 名	① 基調講演「孤立状態に置かれがちな人びとの実情とニーズ」 講師 岐阜大学准教授 南出 吉祥 ②実践報告 報告者 (社福) 群馬いのちの電話 報告者 今井 洋 (一社) 群馬県社会福祉士会 報告者 高橋 知之 ② 交流会

(カ) ぐんまの子ども・若者支援事業

子ども・若者支援を行う民間支援団体・個人の連携体制を構築することで、適切かつ効果的な支援につなげるため、各種事業を実施した。

ネットワーク入会数 35団体・個人

(a) ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク総会・記念講演会

期日・場所等	内 容
5月25日 前橋市 参加者 36 名	第1部 総会 第2部 記念講演 テーマ「“気になる児”の支援について」 講師 群馬県東部児童相談所 公認心理師・臨床心理士 岡 直矢

(b) ぐんまの子ども・若者支援フォーラム

期日・場所等	内 容
9月21日 前橋市 参加者 142 名	講演「これからの子ども・若者支援に求められる視点」 講師 大阪府豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部 麗子 パネルディスカッション「子ども・若者への多様なアプローチ」 パネリスト 不登校と向き合う親の会 さくらんぼの実る頃 代表 湯浅 やよい 群馬県私立通信制高校等連絡協議会 事務局 丸山 昌利 NPO 法人ぐんま若者応援ネットアリスの広場 代表 佐藤 真人 渋川市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 登坂 将志 コーディネーター NPO 法人 花 理事長 目崎 智恵子

(c) “つながる” 研修会

期日・場所等	内 容
1 月 26 日 前橋市 参加者 84 名	基調講演「生きづらさを抱える子ども・若者を地域でささえる」 講師 NPO 法人こどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重 忠孝

(d) 情報交換会

期日・場所等	内 容
7 月 8 日 前橋市 参加者 15 名	説明「群馬県内通信制高校の在籍生徒数について」 講師 群馬県私学・青少年課 副主幹 狩野 雄平 情報交換
11 月 18 日 前橋市 参加者 15 名	情報交換
2 月 17 日 前橋市 参加者 12 名	情報交換

②包括的に生活課題を受け止め、住民主体による課題解決の仕組みの構築

(ア) 県社協会員福祉NPO代表者会議

期日・場所等	内 容
3 月 26 日 (web 開催) 参加者 6 名	・生活支援体制整備事業にかかるぐんま高齢者生活支援共創プラットフォームについて ・各団体取り組み・情報交換

(イ) 県内おもちゃの図書館情報交換会

期日・場所等	内 容
6 月 9 日 前橋市 参加者 11 名	・情報提供①「おもちゃの図書館全国連絡会の取り組みについて」 認定 NPO 法人おもちゃの図書館全国連絡会 事務局 隅田 ひとみ ・情報提供②「助成金について」 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 ・情報交換

(ウ) 市町村社協避難行動要支援者見守り事業

助成額等	内 容
2 社協に助成 200,000 円×2 社協	①榛東村社会福祉協議会 ②上野村社会福祉協議会

③包括的支援体制の構築における市町村社協の基盤強化支援

(ア) 市町村社協役職員研修会

(a) 新任社協職員研修会 I

期日・場所等	内 容
4 月 18 日 前橋市 参加者 34 名	講義「福祉を取り巻く社会情勢と社会福祉協議会の役割」 講師 群馬県社会福祉協議会 会長 川原 武男 講義・演習 「接遇とビジネスマナー」 「報連相の基礎知識」 「報告書・メールの書き方」 「アサーティブ・コミュニケーション」 講師 4ever partners 代表 鈴木 道子

(b) 社協職員プレゼンテーション能力強化研修会

期日・場所等	内 容
7 月 28 日 (web 開催) 8 月 25 日 (参集開催) 前橋市 参加者 8 名	講義・演習 講師 (株) エイデル研究所 増田 直哉

(c) 社協職員マーケティング・ブランディング研修会

期日・場所等	内 容
9 月 1 日 前橋市 参加者 7 名	講義・演習 講師 (株) インソース 深山 直樹

(d) 社協中堅職員研修会

期日・場所等	内 容
12 月 22 日 12 月 23 日 前橋市 参加者 6 名	講義・演習 講師 (株) エイデル研究所 増田 直哉

(e) 社協管理職員研修会

期日・場所等	内 容
1 月 28 日 1 月 29 日 前橋市 参加者 20 名	講義・演習 講師 (株) フォーサイツコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 (株) エイデル研究所 増田 直哉

(イ) 市町村社協トップセミナー（群馬県市町村社会福祉協議会会長会との共催）

期日・場所等	内 容
10 月 22 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 171 名	講演「社会福祉協議会の未来～これからのビジョンについて～」 講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一

(ウ) 市町村社協常務理事・事務局長会議

期日・場所等	内 容
4 月 22 日 前橋市 参加者 49 名	議題 (1) 県社協各課の事業について (2) 県社協に対する意見、要望 行政説明 「高齢者等終身サポート事業について」 説明 群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課 副主幹 菅原 悠太郎 県社協説明 「生活福祉資金特例貸付におけるフォローアップ支援について」 説明 群馬県社会福祉協議会 福祉資金課長 澁谷 泰弘 地域福祉課長 大野 優一 情報交換 「人材確保・人材育成について」

(エ) 市町村社協経理研修

期日・場所等	内 容
8 月 18 日 前橋市 参加者 47 名	講義「令和 7 年税制改正」 「電子納税について」 「公益法人等が支払いを受ける利子等の非課税」 「社会福祉協議会と寄附税制について」 「公益信託について」 「団体業務不正予防のポイントについて」 講師 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人 情報交換会

(オ) コミュニティソーシャルワーク実践研究会・研修

(a) コミュニティソーシャルワーク実践研究会

期日・場所等	内 容
5 月 1 日 前橋市 参加者 6 名	協議 (1) 令和 7 年度コミュニティソーシャルワーク実践研究会について (2) コミュニティソーシャルワーク研修について (3) その他

(b) 社協職員のためのコミュニティソーシャルワーク研修会

期日・場所等	内 容
9 月 26 日 前橋市 参加者 13 名	講義「コミュニティソーシャルワークの視点と方法」 講義・演習「コミュニティソーシャルワークにおける 個別アセスメントと個別支援」 講義・演習「コミュニティソーシャルワークにおける 地域アセスメントと地域支援」 講師 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授 菱沼 幹男

(カ) 群馬県内市町村社会福祉協議会経営実態調査結果に関する情報交換会

(市町村社会福祉協議会介護・障害サービス管理者等情報交換会)

期日・場所等	内 容
7 月 7 日 前橋市 参加者 34 名	講義「令和 6 年度群馬県内市町村社会福祉協議会経営実態調査・ 分析」を受けて 組織文化とサービスの本質を考える 講師 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人 情報交換 (1) 経営上の課題 (2) 経営改善に向けた取り組み

(キ) 市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議

期日・場所等	内 容
8 月 1 日 前橋市 参加者 22 名	事例報告 「LINE を活用した情報発信」 前橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター 所長 木村 雅幸 情報交換

(ク) 郡市町村社会福祉協議会活動調査の実施

郡市町村社会福祉協議会の活動状況を把握し、相互による活動推進及び関係機関・団体との連携等を目的に 35 市町村社協及び 1 郡社協に対して調査を実施した。

(ケ) 市町村社協会長会への助成

助成額	内 容
175,000 円	1 社協あたり 5,000 円× 35 市町村社協として助成

(コ) 群馬県内社協職員連絡協議会運営支援

(a) 地域福祉活動研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
2月13日 前橋市 参加者 30名	テーマ「地域福祉と企業連携について」 講義①「地域と企業がワンチームで取り組む移動販売への挑戦」 講師 熊谷市社会福祉協議会 地域福祉係 生活支援コーディネーター 大崎 夕貴 講義②「前橋市社協における企業連携について」 講師 前橋市社会福祉協議会 地域福祉係 主任 高橋 大輝

(b) 第60回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
4月16日 前橋市 参加者 32名	【令和7年度第1回実行委員会】 ①前回からの進捗状況、②開催要項、③実行委員の役割分担
6月18日 前橋市 参加者 36名	【令和7年度第2回実行委員会】 ①前回からの進捗状況、②実行委員最終確認
7月10日～11日 前橋市 参加者 330名	【第60回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会】 「ふくし」といったら社協だんべえ～つる舞う形の群馬大会 第1分科会『総務』 一人ひとりが輝く社協～職員が成長できる組織を考える～ 講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻教授 川上 富雄 発表者 厚木市社会福祉協議会 主査 土屋 朋恵 長泉町社会福祉協議会 主任主査 渡邊 麻由 第2分科会『情報』 「社協活動×広報」の「強み」を考える！～「伝わる」チラシをみんなでつくろう～ 講師・コーディネーター 株式会社エスフェクト 代表取締役社長 窄口 真吾 事例発表者 茅野市社会福祉協議会 総務・企画係 湯田 朱理 八街市社会福祉協議会 総務課課長 粕 義和 第3分科会『地域福祉』 この分科会「社協×行政＝重層」だんべえ～ 講師 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 実践報告者 山梨市役所高齢者・介護支援課支援つなげる担当 佐藤 忠禎 川越市社会福祉協議会 主幹 高梨 雅子 第4分科会『連携・協働』 『社協と〇〇』連携誕生の秘訣 ～まず、やってみっぺ！こうすっぺ！～ 講師・コーディネーター 茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 事例発表者 壬生町社会福祉協議会 主任 松本 和也 小美玉市社会福祉協議会 事務局長 大山 明弘

期日・場所等	内 容
	第5分科会『相談・権利擁護』 あなたの“決める”をみんなで支える～意思決定支援を多様な立場から考える 講師・コーディネーター・事例報告者 (一社)SADO Act 相談支援センターそらうみ 管理者・主任相談支援専門員 本間 奈美 事例報告者 東京都北区社会福祉協議会地域福祉係 小林 佳太 第6分科会『災害』 災害 VC・災害福祉支援の基盤は日常の地域福祉活動にあり！ 講師・コーディネーター 日本社会事業大学 大学院 講師 北川 進 事例報告者 榛東村社会福祉協議会 事務局長 小野関 芳美 片品村社会福祉協議会 事務局次長 千明 長三 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター所長 鈴木 伸明 記念講演：「つながり」から持続可能な地域を考える 講師：アンカンミンカン 富所 哲平
9月1日 前橋市 参加者 31 名	【令和7年度第3回実行委員会】 ①大会振り返り、②実績報告・予算流用・決算

(サ) 全国会議・研修等への参加

- (a) 秋季関東甲信越静岡ブロック都県・指定都市社会福祉協議会 組織・ボランティア業務
担当者会議（さいたま市・参加者2名）

④共同募金運動への協力・推進

(ア) 共同募金運動への協力

社会福祉法第119条に基づく共同募金に対する意見書を提出した。

(イ) 使途選択募金の運営支援（委員として出席）

期日・場所等	内 容
6月20日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」配分式
6月20日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
8月18日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
12月19日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
2月9日 (web 開催)	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議

(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進

県内のボランティア・市民活動や福祉教育を一層推進するため、フォーラムや研修会、連絡会議等の開催を通して取組の基盤整備を図った。

①社協ボランティアセンター機能の強化

(ア) ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会

期日・場所等	内 容
7 月 23 日 前橋市 参加者 18 名	①委員長、副委員長の選出について ②令和 6 年度事業報告について ③令和 7 年度事業計画について ④災害ボランティア活動助成金の助成状況について ⑤その他
3 月 19 日 前橋市 参加者 14 名	①令和 7 年度事業報告について ②令和 8 年度事業計画について ③災害ボランティア活動助成金の助成状況について ③ その他

②地域を基盤とした福祉教育・ボランティアの推進

(ア) 社会福祉協力校事業（小中高等学校・地域指定）

単年度学校指定モデル事業（単年度）指定：7 校

(a) 社会福祉協力校（単年度）への活動費助成（1 校 50,000 円）

当該市町村社協を通じて協力校へ助成金を交付した。

- ・前橋市立細井小学校
- ・前橋市立明桜中学校
- ・高崎市立多胡小学校
- ・高崎市立寺尾中学校
- ・伊勢崎市立広瀬小学校
- ・沼田市立沼田南中学校
- ・館林市立多々良中学校

(b) 市町村社協への連絡調整費助成（1 校 10,000 円）

- ・当該市町村社協に連絡調整にかかる助成金を交付した。

(イ) 地域指定福祉協力校モデル事業（3 年間）指定：2 地区

(a) 指定地域への活動費助成（1 地区 300,000 円）

地域・学校・家庭が連携をして地域に密着した福祉教育の推進を図るため、概ね中学校区を単位として指定した。

- ・中之条町六合地区（令和 5～7 年度）
- ・明和町全域（令和 7～9 年度）

(ウ) 福祉協力校連絡会議

期日・場所等	内 容
4 月 25 日 前橋市 参加者 21 名	・ 事業説明「社会福祉協力校活動助成事業について、 福祉教育を進めるにあたって、その他」 ・ 実践発表 発表 高崎市立寺尾中学校 櫻井 敬文

(エ) 福祉教育セミナー

期日・場所等	内 容
8 月 19 日 (web 開催) 参加者 44 名	講演「地域全体で取り組む福祉教育～ほっとかれへん！子どもたちの未来、私たちの未来 誰も“ひとりぼっち”にしないまちづくりをめざして 助け上手・助けられ上手&お節介のススメ～」 講師 一般社団法人ボランティア・市民活動センター支援機構おおさか 代表理事/ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広 実践発表 【学校】 沼田市立沼田南中学校 津久井 仁美 登坂 遥羽 【社協】 嬭恋村社会福祉協議会 大井 志依 【福祉教育推進委員】 社会福祉法人協同福祉会 福祉総合相談センターほなみ 山口 怜生

(オ) ぐんまボランティアフォーラム

期日・場所等	内 容
2 月 26 日 前橋市 参加者 36 名	講義「多世代を巻き込むボランティアコーディネーション」 講師 特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井 俊宗

③助け合い活動の育成、組織化、調整できるコーディネーターの育成・支援

(ア) 住民支え合いコーディネータースキルアップ講座

期日・場所等	内 容
3 月 16 日 (web 開催) 参加者 13 名	講義「多様な人の参加によるまちづくり ～やる気をうみ出すボランティアコーディネーション～」 講師：特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA) 理事・運営委員 龍谷大学社会学部 教授 筒井 のり子

④企業活動と地域福祉活動との協働事業の推進

(ア) SDG s ・社会貢献セミナー

期日・場所等	内 容
1 月 21 日 前橋市 参加者 59 名	基調説明① 「企業等SDG s 活動支援センターについて」 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 課長補佐 青柳 素子 基調説明② 「災害福祉支援センターの取り組みについて」 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 基調説明③ 「SDG s ぐんま連絡会議の福祉分野の取り組み事例」 株式会社ミツバ環境ソリューション ソリューションプロジェクトマネージャー 神部 安希子 事例報告・パネルディスカッション コーディネーター SDG s ぐんま連絡会議 代表理事 片亀 光 パネリスト 株式会社ジェイ・エヌ・エス 清水 久和、阿部 新子 株式会社ワークエントリー 天然水事業部 但田 秀樹 株式会社C I C A C 代表取締役 今氏 一路

(イ) 福祉と企業のSDG s 情報交換会

期日・場所等	内 容
5 月 21 日 前橋市 参加者 32 名	(1) 県社協説明 ・企業等SDG s 活動支援センターの取組 ・災害福祉支援センターの取組 (2) 情報交換 ・参加企業等の活動状況の共有 ・福祉と企業の連携による取組の推進に向けた検討

(ウ) 協定の締結

期日・場所等	内 容
5 月 20 日 前橋市	生活協同組合パルシステム群馬と地域社会づくり・SDG s 推進の包括連携協定を締結
9 月 18 日 前橋市	株式会社セイワ食品と生活困窮者支援及び災害時等への商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定を締結
12 月 2 日 前橋市	リコージャパン株式会社デジタルサービス営業本部群馬支社と地域社会づくり包括連携協定を締結

⑤へり遺児・保護児童への就学援助金等給付事業

(ア) へり遺児就学援助金

平成 30 年 8 月 10 日に発生した群馬県防災ヘリコプター墜落事故による遺児に対し、学資等の一部を給付した。

援助金種別	内 容
へり遺児	給付額 190,000 円 高校入学支度金 30,000 円×1 名=30,000 円 高校学資 月額 5,000 円×12 か月×1 名=60,000 円 大学入学支度金 100,000 円×1 名=100,000 円

(イ) 保護児童就学援助金

保護児童に対し、高校の学資に要する経費の一部を給付した。

援助金種別	内 容
就学援助金 148 名	給付額 4,367,500 円 月額 2,500 円
入学支度金 15 名	給付額 300,000 円

⑥教員免許特例法による介護等体験事業

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に社会福祉施設等での介護等体験が義務づけられていることから、社会福祉施設等での円滑な受け入れを推進するため、本会において受入調整事業を行った。

(ア) 申込状況

学校区分	申込大学等数	体験実施者数
大 学	26	389
短 期 大 学	2	23
合 計	28	412

(イ) 受入状況

種別	施設種別	施設数	体験者数
保護施設	救護施設	2	3
高齢者	養護老人ホーム	1	1
	特別養護老人ホーム	31	104
	老人デイサービスセンター	45	220
	有料老人ホーム	2	2
	介護老人保健施設	7	26
	小計	88	356
障 害	障害者支援施設	7	22
	生活介護事業	5	16
	就労継続支援事業	2	7
	小計	14	45
児 童	児童デイサービス	2	10
	母子生活支援施設	1	1
	小計	3	11
合 計		105	412

(ウ) 介護等体験事業事前説明会

期日・場所等	内 容
5月14日 高崎市 参加者109名	【育英大学・育英短期大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 課長 橋本 巧
7月30日 高崎市 参加者40名	【高崎健康福祉大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 課長 橋本 巧
12月8日 高崎市 参加者4名	【高崎商科大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 課長 橋本 巧

推進項目２ 市町村における総合的な相談支援体制の強化

（１）権利擁護体制の構築

日常生活自立支援事業及び成年後見制度の体制整備を推進しながら、制度の狭間の権利擁護課題を検討した。

①日常生活自立支援事業

（ア）事業実施体制の構築に向けた取組の推進

３５市町村社協に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

（ａ）事業実施体制

・相談件数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	9,638 件	9,046 件	15,109 件	3,343 件	37,136 件
構成比	26%	24%	41%	9%	100%

・契約締結人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	105 件	44 件	79 件	0 件	228 件
構成比	46%	19%	35%	0%	100%

・解約人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	133 件	43 件	59 件	0 件	235 件
構成比	57%	18%	25%	0%	100%

・実利用者数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	407 件	325 件	443 件	0 件	1,175 件
構成比	35%	27%	38%	0%	100%

（ｂ）契約締結審査会

本事業運営上の助言を得ることを目的として、委員５名（医師２名、弁護士１名、保健師１名、社会福祉士１名）による審査会を開催した。

期日・場所等	内 容
６月１１日 前橋市 参加者 10 名	報告 （１）令和６年度運営状況について （２）令和７年度事業予定について （３）日常生活自立支援事業利用料の改定について （４）契約締結審査会設置要綱の改訂について 審査 （１）審査案件について その他

期日・場所等	内 容
12月10日 前橋市 参加者9名	報告 (1) 令和7年度運営状況について (2) 身寄りのない高齢者等への支援にかかる 「新たな事業」について (3) 市町村社協における利用料の状況について 審査 (1) 審査案件 その他

(イ) 巡回訪問

事業実施社協における本事業の適切な実施を図るため、事業を実施する社協11か所を訪問し、状況確認及び課題についての意見交換等を行った。

期日・場所等	内 容
5月12日 富岡市 5月12日 甘楽町 7月15日 みどり市 7月25日 神流町 7月25日 上野村 7月25日 南牧村 7月30日 下仁田町 10月10日 桐生市 10月16日 玉村町 11月27日 前橋市 12月9日 伊勢崎市	1 趣旨説明 2 点検 (1) 実施体制について (2) 契約内容について (3) 解約後未返却のケースについて (4) 成年後見制度の取り組み状況について 3 情報交換

(ウ) 専門員会議

(a) 専門員連絡調整会議

期日・場所等	内 容
3月17日 前橋市 参加者37名	説明「新たな第二種社会福祉事業に関する動向」 講師 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 水谷 詩帆 県社協 説明 (1) 日常生活自立支援事業マニュアル改訂について (2) 来年度（令和8年度）に向けた連絡事項等について (3) その他（質疑・応答） 情報交換

(b) 研修検討会

期日・場所等	内 容
9月11日 (web開催) 参加者7名	(1) 専門員新任者研修Ⅱについて (2) その他
12月2日 前橋市 参加者7名	(1) 専門員新任者研修Ⅰについて (2) その他

(c) ブロック別専門員連絡会

期日・場所等	内 容
4月14日 吾妻 参加者13名	(1) 各町村の利用状況について (2) 福祉サービス利用援助契約の変更状況について (3) 情報共有 (4) 次回研修内容について (5) 次回専門員会議について
4月16日 利根・沼田 参加者11名	(1) 日常生活自立支援事業の現状について (2) 日常生活自立支援事業の利用料について (3) 法人後見の取組について (4) その他
6月16日 東部 参加者12名	(1) 県社協より連絡事項等 (2) 今年度の東部ブロック会議の体制について (3) 情報交換 (4) その他
6月17日 中部 参加者10名	(1) 県社協より連絡事項等 (2) 今年度の中部ブロック会議の体制について (3) 情報交換 (4) その他
7月2日 西部 参加者13名	(1) 県社協より連絡事項等 (2) 今年度の西部ブロック会議の体制について (3) 情報交換 (4) その他
7月24日 吾妻 参加者16名	専門員研修会 講義「年金制度について」 講師 やまもと労務管理コンサルタント 山本 和久
10月16日 西部 参加者12名	(1) 県社協より（連絡事項等） (2) 情報交換（グループ討議） (3) その他
10月27日 利根・沼田 参加者11名	(1) 議題 (2) 県社協より（連絡事項等） (3) その他
11月12日 吾妻 参加者10名	(1) 各町村社協の利用状況について (2) 情報共有について (3) その他
12月15日 中部 参加者9名	(1) 県社協より（連絡事項等） (2) 各市町村社協の日常生活自立支援事業の状況について (3) 事例検討 (4) 情報交換 (5) その他
2月4日 中部・西部合同 参加者20名	(1) 県社協より（連絡事項等） (2) 情報交換（グループ討議） (3) その他

期日・場所等	内 容
2月6日 吾妻 参加者 15 名	(1) 各町村社協の利用状況について (2) 情報共有について (3) 県社協より (連絡事項等) (4) その他
2月19日 利根・沼田 参加者 10 名	専門員研修会 講話「生活保護制度について」 講師 利根沼田保健福祉事務所 企画福祉課地域支援係 係長 住谷 真弓
3月4日 東部 参加者 11 名	(1) 県社協より (連絡事項等) (2) 情報交換

(エ) 専門員研修

専門員及び一般社協の担当者を対象に、利用者支援に必要な知識を習得し、資質の向上を図るとともに、支援の充実に資することを目的とする研修を開催した。

(a) 専門員新任者研修Ⅰ

期日・場所等	内 容
5月21日 前橋市 参加者 33 名	「日常生活自立支援事業の概要説明」 講師 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主事 小宅 瑞穂 「先輩専門員から学ぶ実務」 講師 中之条町社会福祉協議会 専門員 山本 由香理 「先輩専門員から学ぶ専門員像」 講師 伊勢崎市社会福祉協議会 専門員 高橋 奈央 情報交換 (グループ協議)

(b) 専門員新任者研修Ⅱ

期日・場所等	内 容
12月2日 前橋市 参加者 30 名	事例報告 1 講師 長野原町社会福祉協議会 専門員 佐藤 めぐみ 事例報告 2 講師 板倉町社会福祉協議会 専門員 石川 涼太 グループ検討

(c) 専門員等研修会

期日・場所等	内 容
1月27日 (web 開催) 参加者 68 名	講義「身寄りのない高齢者等の支援に社協が取り組む意義」 ～ とうかいライフ・エンディングサポート事業の実践から ～ 講師 東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係 係長 古市 こずえ

(オ) 関係機関連絡会議

構成員 39 機関に対して、書面により報告を行った。

期日・場所等	内 容
5 月 7 日 (書面開催) 39 機関	・ 事業実施状況の報告 ・ 構成員の確認

(カ) 金融機関情報交換会

県内各金融機関との連携や協力体制の構築を強化し、日常生活自立支援事業の円滑な実施を図るため開催した。

期日・場所等	内 容
6 月 6 日 前橋市 参加者 23 名	(1) 事業概要及び実施状況について (2) 事業運営における情報交換 (3) その他

(キ) 利用料助成

住民税非課税世帯及び生活保護世帯の福祉サービス利用支援の機会を確保するため、住民税非課税世帯の者に対する利用料の助成及び生活保護世帯の者に対する利用料の助成を実施した。

※非課税世帯への助成金：1 時間当たり 500 円

(内訳：県 125 円、県社協 125 円、市町村 250 円)

※生活保護世帯への助成金：1 時間あたり 1,500 円 (内訳：国 750 円、県 750 円)

※非課税世帯への助成は、平成 13 年度県・市町村補助事業として創設

(a) 令和 7 年度非課税世帯利用料助成金交付状況 (県・県社協分)：2,048,250 円

②成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度研修事業

(a) 成年後見制度普及啓発セミナー

成年後見制度の利用促進を図るため、支援者等を対象にしたセミナーを動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
1 月 15 日～ 3 月 27 日 (動画配信) ①視聴回数：267 回 ②視聴回数：162 回	講義「成年後見制度の基礎知識 ～利用することによる効果や留意点～」 講師 群馬弁護士会 弁護士 板橋 俊幸 講義「成年後見制度利用にかかる実務について ～事例から学ぶ支援者の実務等～」 講師 群馬司法書士会 リーガルサポート群馬支部 副支部長 堀川 寛人

(b) 行政職員等研修

市町村や中核機関における相談対応や権利擁護ネットワークの構築等の実務能力の向上等を目的とした研修をオンラインにより開催した。

期日・場所等	内 容
9月24日 (web開催) 参加者 81名	事例報告「市町村長申し立ての実務について」 講師 高崎市福祉部 長寿社会課 主任主事 松本 美貴 事例報告「日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行について」 講師 前橋市社会福祉協議会生活支援課 副主幹 高村 いくみ 講義「市町村長申し立ての流れについて」 講師 前橋家庭裁判所 主任書記官 中曽根 淳史

(c) 法人後見専門員養成研修

成年後見制度が他の支援制度とともに一体的に運用されることや、持続的な権利擁護支援体制の構築を目的に法人後見専門員等を対象にした研修をオンラインにより開催した。

期日・場所等	内 容
1日目 12月5日 (web開催) 参加者 17名	講義「成年後見制度の基礎」「民法の基礎」 講師 群馬弁護士会 高齢者障害者支援センター 副委員長 板橋 俊幸
2日目 12月8日 (web開催) 参加者 17名	講義「成年後見の実務」 講師 前橋家庭裁判所 主任書記官 吉田 まゆみ 講義「成年後見人の取り組み」 講師 社会福祉士事務所はあとらんど所長 社会福祉士 大矢 和則 講義「法人後見実践社協の取り組み」 講師 おおた成年後見支援センター 所長 須永 良一

(d) 意思決定支援研修

意思決定支援の重要性や考え方などについて共通理解を目的に、成年後見制度及び関連する支援制度による支援者等を対象にした研修を動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
2月6日～ 3月27日 (動画配信) ①視聴回数：259回 ②視聴回数：182回	講義「権利擁護における意思決定支援の考え方」 講師 筑波大学人間系障害科学域 名川 勝 講義「意思決定支援の実務」 講師 群馬県社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ群馬 副センター長 大矢 英夫

(イ) 情報交換会

(a) 群馬県成年後見制度利用促進協議会

期日・場所等	内 容
9 月 26 日 前橋市 参加者 17 名	説明・情報交換 (1) 日常生活自立支援事業との連携強化について (2) 市民後見人養成事業について (3) 次期群馬県福祉プランの権利擁護支援関係 K P I について (4) その他
2 月 2 日 前橋市 参加者 15 名	説明・情報交換 (1) 令和 8 年度以降の県による取組について (2) 令和 8 年度における市民後見人養成事業の実施について (3) 圏域別情報交換会の概要報告について (4) その他

(ウ) 法人後見立ち上げ支援

法人後見を安定的に実施するための組織体制の構築や法人後見活動を推進するために必要な事業実施等といった法人後見運営・立ち上げに関する相談・支援を行った。

(a) 法人後見立ち上げに向けた準備会・研修会及び運営委員会等での説明・助言

期日・場所等	内 容
館林市	運営委員会における説明・助言（1 回）
長野原町	運営委員会における説明・助言（1 回）
草津町	運営委員会における説明・助言（1 回）
中之条町	運営委員会における説明・助言（2 回）
昭和村	運営委員会における説明・助言（3 回）
みなかみ町	運営委員会における説明・助言（2 回）

(エ) 法人後見実施社協等情報交換会

法人後見事業に関する取り組み状況や課題等の情報交換を行うことを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
5 月 29 日 前橋市 参加者 29 名	(1) 説明「市町村社協における法人後見事業の意義について」 説明者：県社協 地域福祉課 小宅 瑞穂 (2) 報告「市町村社協における法人後見事業の取り組み」 報告者：館林市社協 地域福祉課 課長 新田 和 安中市社協 総務企画課 主査 中山 博史 (3) 情報交換

(オ) 圏域別の情報交換会

県内 5 圏域及びテーマ別で成年後見制度利用促進に関する情報交換会を開催し、市町村間の情報共有を図った。

・第1回

期日・場所等	内 容
7月30日 (富岡市) 参加者 14 名	(1) 説明 ①成年後見制度関係調査について ②担い手育成方針について ③その他 (2) 情報交換 ①事前アンケートに基づく情報交換 ②その他
8月1日 (中之条町) 参加者 23 名	
8月18日 (沼田市) 参加者 19 名	
8月21日 (太田市) 参加者 20 名	
8月22日 (前橋市) 参加者 10 名	

・第2回

期日・場所等	内 容
12月16日 (前橋市) 参加者 15 名	(1) 説明 ①ロードマップ的取組指標項目別の市町村財源について ②令和8年度以降の県実施事業の見通しについて ③令和8年度市民後見人養成事業について ④日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行検討ハンドブックについて ⑤身寄りのない高齢者等支援にかかる新たな事業について (2) 情報交換 ①事前アンケートに基づく情報交換 ②その他
12月18日 (藤岡市) 参加者 23 名	
1月8日 (沼田市) 参加者 20 名	
1月13日 (中之条町) 参加者 25 名	
1月19日 (太田市) 参加者 17 名	

(カ) 他制度との連携強化事業

期日・場所等	内 容
3月17日 前橋市 参加者 55 名	日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行ハンドブックを作成、説明会を開催。 方 式 オンライン併用のハイブリッド開催 内 容 県地域福祉課 菅原副主幹より説明 (10分) ハンドブック説明 (30分) 質疑応答

③制度の狭間の権利擁護課題の検討

(ア) 「身寄りのない高齢者等への支援」を考える研修会

市町村社協職員や市町村行政職員が、身元保証や死後事務委任契約にかかる法的な基礎知識を習得するとともに、専門職による実践から支援の理解を深めることを目的として標記研修会を開催した。

期日・場所等	内 容
10月2日 前橋市 参加者 89名	講義「身寄りのない高齢者等への支援について ～法的立場からみた現状と課題～」 講師 法律事務所わだち 弁護士 山本 聡 事例報告「身元保証、死後事務の実際について」 報告者 司法書士 宮原 直樹

(イ) 身寄りのない高齢者等への支援にかかる情報交換会

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進に向けて、死後事務や入所・入院時の身元保証・身元引受等、日常生活自立支援事業や成年後見制度等の既存の制度で対応が困難な課題の検討を行うことを目的に身寄りのない高齢者等への支援にかかる情報交換会を実施した。

期日・場所等	内 容
3月12日 前橋市 参加者 10名	1 協議 (1) 県社協より説明 (2) 新たな事業各進捗状況について (3) 情報交換 (4) その他

(2) 生活困窮者等への支援

生活にお困りの方の状況に応じて、関係機関と連携した横断的支援を推進するとともに、ひきこもり状態にある方に対する相談体制の整備等相談窓口の充実を図った。

①生活にお困りの方への相談支援

(ア) 23町村における生活困窮者に対する相談支援体制の強化

8か所の支所社協と県社協でコンソーシアム（共同事業体）協定を結び、群馬県より群馬県生活困窮者自立相談支援事業を受託して、県内23町村における生活困窮者支援のための相談支援を行った。

期日・場所等	内 容
通年 町村部	新規相談受付件数 580 件 自立相談支援事業申込件数 177 件 自立支援プランの作成 249 件

(a) 生活困窮者の発見と把握

・生活・就労・住まいの相談会

町村役場、町村社協、ハローワーク等と協働して、生活困窮者の相談に応じるワンストップの相談会を23町村において実施した。

町村名	期日	会場
榛東村	2月19日	榛東村福祉センター「ささえの家」
吉岡町	2月25日	吉岡町役場
上野村	9月1日	上野村いきいきセンター
神流町	8月28日	神流町役場
下仁田町	10月7日	下仁田町役場
南牧村	10月28日	南牧村役場
甘楽町	8月27日	にこにこ甘楽
中之条町	11月21日	中之条町役場
長野原町	11月10日	長野原町社会福祉協議会
嬭恋村	11月14日	嬭恋村役場
草津町	10月6日	草津町役場
高山村	8月8日	高山村保健福祉センター
東吾妻町	8月6日	東吾妻町役場
片品村	9月26日	片品村役場
川場村	① 6月13日 ② 12月12日	川場村役場
昭和村	① 8月28日 ② 2月3日	昭和村役場
みなかみ町	2月24日	みなかみ町保健福祉センター
玉村村	11月17日	玉村町社会福祉協議会
板倉町	8月27日	板倉町役場
明和町	9月22日	明和町役場
千代田町	9月5日	千代田町総合保健福祉センター
大泉町	8月25日	大泉町保健福祉総合センター
邑楽町	10月15日	邑楽町保健センター

・町村民生委員・児童委員への事業説明・調査

23町村の各定例会に出向いて生活困窮者支援の啓発や事業説明及び生活困窮者の状況等に関するアンケート調査等を実施した。

・関係機関への巡回訪問

随時、町村役場、町村社協、ハローワーク、保健福祉事務所等の関係機関を訪問し、情報収集や事業の再周知・理解促進及び共通認識を図った。

(b) 相談支援員連絡会議

期日・場所等	内 容
4 月 9 日 6 月 10 日 9 月 2 日 10 月 20 日 12 月 11 日 2 月 27 日 (全日 前橋市)	支所社協相談支援員の情報交換と資質向上を図ることを目的に開催した。 内容 : 全体会議、事務調整、ケース検討、情報交換、勉強会 出席者 : 支所社協相談支援員、県地域福祉課担当者、県社協

(c) 主任相談支援員及び相談支援員の資質向上

- ・主任相談支援員初任者研修の受講 (県社協 1 名)
- ・相談支援員初任者研修の受講 (県社協 2 名受講)
- ・居住支援事業支援員初任者研修 (web 研修) の受講 (県社協 1 名受講)
- ・就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修の受講 (県社協 2 名受講)
- ・家計改善支援事業支援員初任者研修 (web 研修) の受講 (県社協 3 名受講)
- ・ステップアップ研修の受講 (県社協 1 名、支所 3 名受講)
- ・都道府県研修・自治体の体制整備に係る担当者研修 (web 研修) の受講 (県社協 1 名受講)
- ・群馬県生活困窮者自立支援制度職員研修 (前期) の受講 (県社協 1 名、支所 1 名受講)
- ・群馬県生活困窮者自立支援制度職員研修 (後期) の受講 (県社協 6 名受講)

(d) 居住支援事業 (シェルター事業) の実施・住まいの相談支援の実施

- ・一定の住居を持たない生活困窮者に対し、一定の期間に限り、宿泊場所の供与、食事の提供等を行った。 利用件数 3 件 (35 泊)
- ・住まいの相談支援の実施 延べ 20 件

(e) 関係機関連絡会議、自立相談支援機関との情報交換会等

- ・関係機関連絡会議

期日・場所等	内 容
8 月 4 日 前橋市 参加者 19 名	中部ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
8 月 7 日 富岡市 参加者 17 名	多野・甘楽ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7 月 22 日 長野原町 参加者 29 名	吾妻ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7 月 25 日 沼田市 参加者 20 名	利根ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」

期日・場所等	内 容
7 月 28 日 邑楽町 参加者 21 名	邑楽ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」

・生活困窮者自立相談支援機関情報交換会

期日・場所等	内 容
10 月 1 日 前橋市 参加者 43 名	・説明「群馬県地域生活定着支援センター」、「ぐんまつながりネット」ほか ・情報交換「課題と取組について」

・生活困窮者自立相談支援事業 社協事務局長会議

期日・場所等	内 容
5 月 8 日 長野原町 参加者 6 名	・説明「事業実施状況について」、「支所社協の移管について」 ・情報交換
10 月 7 日 中之条町 参加者 10 名	・説明「事業実施状況について」、「支所社協の移管について」 ・情報交換
12 月 24 日 明和町 参加者 9 名	・説明「事業実施状況について」、「支所社協の移管について」 ・情報交換
2 月 19 日 Web 開催 参加者 9 名	・群馬県より「令和 8 年度～令和 1 0 年度群馬県生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・地域居住支援事業）」について ・令和 8 年度～令和 1 0 年度ぐんま生活困窮者自立支援コンソーシアム受託料予定額（案）について ・令和 8 年度～令和 1 0 年度ぐんま生活困窮者自立支援コンソーシアム協定書(案)について
2 月 20 日 Web 開催 参加者 13 名	・群馬県より「令和 8 年度～令和 1 0 年度群馬県生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・地域居住支援事業）」について ・令和 8 年度～令和 1 0 年度ぐんま生活困窮者自立支援コンソーシアム受託料予定額（案）について ・令和 8 年度～令和 1 0 年度ぐんま生活困窮者自立支援コンソーシアム協定書(案)について

(f) 関係機関との連携

覚書を交わした県内フードバンクと、生活困窮者への緊急支援を実施した。

- ・NPO法人 三松会（館林市） 利用数 12 件

(g) 民間企業との連携

民間企業と、生活困窮者への緊急支援を実施した。

- ・大黒食品工業株式会社（玉村町） 利用数 4 件
- ・セイワ食品（高崎市） 利用数 1 件

(イ) 生活困窮者やひきこもり状態の方への訪問支援やメール相談

県社協ホームページ内にメールフォームを開設し新規相談の掘り起こしを図った。

・相談対応延べ件数 13 件

(ウ) 居住支援事業

県居住支援協議会等に参画するとともに、県より居住支援法人の指定を受け、生活困窮者に対し相談支援を実施した。

相談対応	122 件
------	-------

(a) 群馬県居住支援協議会（群馬県主催）への参加

総会 1 回

(b) 緊急連絡先確保支援事業

利用実績 0 件

(エ) 広域就労準備支援事業・家計改善支援事業

(a) 広域就労準備支援事業

県内 7 市と 23 町村における生活困窮者自立支援事業利用者・生活保護受給者の中で、就労に向け一定の準備が必要な方に対し、日常生活習慣の改善等の相談支援を実施した。

利用人数	129 人
支援件数	307 件
プラン件数	35 件

(b) 広域家計改善支援事業

県内 8 市と 23 町村における生活困窮者自立支援事業利用者・生活保護受給者の中で、家計の状況を把握し、家計管理の意欲を引き出す相談支援を実施した。

利用人数	247 人
支援件数	434 件
プラン件数	76 件

②関係機関・団体等との連携強化

(ア) 民生委員・児童委員の活動支援

(a) 副会長等中核的委員研修会

期日・場所等	内 容
10 月 9 日 前橋市 参加者 242 名	講義「副会長等中核的委員に期待される役割」 講師 新潟医療福祉大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 教授 青木 茂

(b) 中堅民生委員・児童委員研修会(応用編)

期日・場所等	内 容
10 月 16 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 834 名	講義「地域共生社会を目指した民生委員児童委員活動を推進する中堅民生児童委員の役割」 講師 ルーテル学院大学 人間総合学部人間福祉心理学科 大学院人間福祉学研究科 社会福祉学専攻 名誉教授 市川 一宏

(c) 新任単位民児協会長研修会

期日・場所等	内 容
1 月 22 日 前橋市 参加者 133 名	講義「新任単位民児協会長に求められる役割」 講師 作新学院大学 女子短期大学部幼児教育科長 教授 坪井 真

③生活福祉資金貸付事業

(ア) 資金貸付と自立支援の充実

市町村社協や自立相談支援機関、民生委員・児童委員等との連携により、生活福祉資金貸付事業を実施し、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。また、コロナ特例貸付借受人へのアウトリーチによるフォローアップ支援を実施するとともに市町村社協や自立相談支援機関との意見交換会やフォローアップ会議の開催を通じて、借受人の情報共有を図り、地元において継続的な支援が行われるよう取組を推進した。

(a) 貸付件数等の状況 別表 1・2 を参照

(b) 償還免除状況

・本則貸付

資金種類	件数	金額 (円)		
		貸付元金	貸付利子	延滞利子
生活福祉資金	7	2, 477, 360	35, 856	690, 529

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付

年度	件数	金額 (円)
令和 4 年度	12, 156	3, 973, 041, 130
令和 5 年度	4, 106	1, 635, 621, 655
令和 6 年度	4, 141	1, 752, 441, 444
令和 7 年度	1, 664	576, 874, 750

(c) 償還猶予状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付

年度	件数
令和4年度	398
令和5年度	739
令和6年度	1,102
令和7年度	189

(d) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

期日・場所等	内 容
3月16日 前橋市 参加者15名	・償還・延滞利子の免除・償還猶予について ・通常貸付状況について ・特例貸付におけるフォローアップ支援について ・貸付金の償還免除について ・その他

(e) 市町村社協貸付事業担当者連絡会議の開催

期日・場所等	内 容
4月21日 前橋市 (集合&web開催) 参加者62名	・特例貸付における厚労省等からの通知について ・特例貸付におけるフォローアップ支援について ・特例貸付の償還に係る事務委託費について ・支援情報共有ツール(kintone)及びタブレットの操作方法について ・情報交換 ※グループに分かれて情報交換
9月29日 前橋市 (集合&web開催) 参加者47名	・本則貸付の実施状況について ・特例貸付におけるフォローアップ支援の現状と今後について ・特例貸付における償還猶予中の支援及び猶予後の取り扱いについて ・支援情報共有ツール(kintone)の運用について
12月24日 前橋市 (集合&web開催) 参加者57名	・本県の本則貸付の実施状況と教育支援資金の概要について ・県内におけるフォローアップ支援の進捗状況と今後の取組予定 ・各市町村社協における取組事例の共有
2月12日 前橋市 参加者51名	・生活福祉資金貸付事業における令和7年度の各種報告について ・令和8年度特例貸付事務費について ・令和8年度「特例貸付フォローアップ支援事業」実施に向けて ・情報交換

(f) 市町村社協担当者研修会の開催

期日・場所等	内 容
4月21日 前橋市 (集合&web開催) 参加者44名	・研修① 生活福祉資金貸付事業(コロナ特例含む)の運営状況について ・研修② 生活福祉資金貸付事業の概要説明について ・質疑応答

期日・場所等	内 容
2月12日 前橋市 参加者 60 名	・講義「社協が特例貸付フォローアップ支援を通じて生活困窮者支援に取り組む意義・役割について」 講師 龍谷大学社会福祉学部現代福祉学科 特任教授 山口 浩次 氏 ・事例検討 ※自立相談支援機関職員も対象に開催

(イ) 債権・償還管理体制の充実

(a) 生活福祉資金貸付事業債権管理強化

生活福祉資金（本則）貸付後の債権管理を適切に実施するため、「群馬県生活福祉資金貸付事業債権管理要領」に基づき、滞納世帯等に対し債権管理を強化実施した。

- ・督促状の発行 4回
- ・訪問活動（償還指導） 22社協 81日 726件

(ウ) 特例貸付におけるアウトリーチによるフォローアップ支援の取り組み

(a) 意見交換会及びフォローアップ会議の開催

実施 市町村	意見交換会 開催期日	フォローアップ会議開催期日				
		①	②	③	④	⑤
前橋市	4月24日	6月12日	7月8日	8月19日	12月10日	3月4日
高崎市	4月22日	5月29日	6月25日	8月6日	11月17日	
桐生市	3月10日					
伊勢崎市	6月23日	9月11日	10月30日	12月2日		
太田市	7月14日	7月28日	9月16日	10月27日		
館林市	1月8日	1月8日	2月20日			
渋川市	10月14日	12月8日	2月2日			
藤岡市	12月5日	3月17日				
富岡市	1月16日	3月26日				
安中市	3月6日					
みどり市	3月23日					
吉岡町	12月1日	1月15日				
下仁田町	9月26日					
甘楽町	2月9日					
玉村町	12月17日	10月9日				
大泉町	1月23日					
邑楽町	8月1日	9月26日				

※沼田市は単独実施

(b) フォローアップ支援における借受人に対するアプローチ状況

市町村	訪問件数
前橋市	743 名
高崎市	620 名
伊勢崎市	468 名
太田市	511 名
館林市	243 名
渋川市	296 名
藤岡市	143 名
富岡市	69 名
吉岡町	38 名
玉村町	112 名
大泉町	41 名
邑楽町	84 名

※ 下仁田町については免除者のみを対象としていないため別集計

④ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(ア) 入学準備金、就職準備金、住宅支援資金の貸付

就職に有利な資格の取得を目指す県内のひとり親家庭の親等に対し、自立を促進するため、貸付事業を実施した。

(a) 貸付件数・金額

資金種類	件数	金額 (円)
入学準備金	6	2,712,000
就職準備金	5	748,000
住宅支援資金	6	3,444,960
合 計	17	6,904,960

(b) 入学準備金・就職準備金面接審査

期日・場所等	内 容
6 月 3 日 前橋市 参加者 4 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認
6 月 5 日 前橋市 参加者 5 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認
7 月 16 日 前橋市 参加者 1 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認

期日・場所等	内 容
8 月 12 日 前橋市 参加者 1 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認

令和7年度 生活福祉資金貸付一覧（月別）

別表1

資金の種類	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計		備考
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	
総合支援資金	0	0	4	1,246,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	185,000	0	0	3	910,000	9	2,341,000	
生活支援費	0	0	2	891,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	165,000	0	0	2	510,000	5	1,566,000	
住宅入居費	0	0	1	155,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	400,000	2	555,000	
一時生活再建費	0	0	1	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20,000	0	0	0	0	2	220,000	
福祉資金	12	999,000	14	2,592,000	12	1,445,000	23	1,929,000	16	1,309,000	14	1,237,000	2	200,000	7	1,017,000	7	451,000	4	1,422,000	13	3,279,000	7	600,000	131	16,480,000	
福祉費	2	243,000	7	2,052,000	5	946,000	10	828,000	9	819,000	4	701,000	0	0	4	742,000	4	245,000	2	1,222,000	4	2,442,000	0	0	51	10,240,000	
緊急小口資金	10	756,000	7	540,000	7	499,000	13	1,101,000	7	490,000	10	536,000	2	200,000	3	275,000	3	206,000	2	200,000	9	837,000	7	600,000	80	6,240,000	
復興支援資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育支援資金	4	2,669,000	2	1,203,000	0	0	0	0	3	2,240,000	5	4,666,000	9	8,256,000	7	2,446,000	13	6,996,000	9	9,660,000	12	11,068,000	35	16,918,000	99	66,122,000	
支援費・支度費	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,832,000	4	3,450,000	8	7,756,000	6	2,036,000	12	6,496,000	8	9,415,000	10	7,880,000	26	13,182,000	76	52,047,000	
教育支援費	1	1,960,000	2	1,203,000	0	0	0	0	1	408,000	1	1,216,000	0	0	1	410,000	1	500,000	0	0	1	2,688,000	2	1,745,000	10	10,130,000	
就学支度費	3	709,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	500,000	0	0	0	0	1	245,000	1	500,000	7	1,991,000	13	3,945,000	
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(要)不動産担保型生活資金	0	0	1	4,494,000	0	0	0	0	1	3,878,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4,641,000	0	0	1	3,561,000	4	16,574,000	
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	16	3,668,000	21	9,535,000	12	1,445,000	23	1,929,000	20	7,427,000	19	5,903,000	11	8,456,000	14	3,463,000	20	7,447,000	16	15,908,000	25	14,347,000	46	21,989,000	243	101,517,000	

※決定ベース（辞退前）

令和 7 年度 生活福祉資金貸付一覧（市町村別）

別表 2

	総合支援資金						福祉資金						教育支援資金	不動産担保型生活資金		(要) 不動産担保型生活資金		臨時特例つなぎ資金		合計		備考	
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		生活復興支援資金												
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円		件	円	件	円	件	円	件	円		
前橋市	0	0	0	0	0	0	16	1,309,000	8	250,000	0	0	9	5,253,000	0	0	1	4,641,000	0	0	34	11,453,000	
高崎市	0	0	0	0	0	0	11	3,075,000	10	1,000,000	0	0	31	28,843,000	0	0	0	0	0	0	52	32,918,000	
桐生市	0	0	0	0	0	0	3	240,000	11	732,000	0	0	2	2,370,000	0	0	0	0	0	0	16	3,342,000	
伊勢崎市	0	0	0	0	0	0	3	1,431,000	0	0	0	0	10	4,007,000	0	0	2	8,372,000	0	0	15	13,810,000	
太田市	0	0	0	0	0	0	1	348,000	10	955,000	0	0	11	4,746,000	0	0	0	0	0	0	22	6,049,000	
沼田市	2	711,000	1	155,000	2	220,000	4	834,000	6	460,000	0	0	1	500,000	0	0	0	0	0	0	16	2,880,000	
館林市	0	0	0	0	0	0	3	418,000	5	440,000	0	0	9	5,398,000	0	0	0	0	0	0	17	6,256,000	
渋川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,561,000	0	0	1	3,561,000	
藤岡市	1	345,000	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	445,000	
富岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安中市	0	0	0	0	0	0	4	333,000	3	118,000	0	0	2	646,000	0	0	0	0	0	0	9	1,097,000	
みどり市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	80,000	0	0	1	225,000	0	0	0	0	0	0	3	305,000	
榛東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	130,000	0	0	1	240,000	0	0	0	0	0	0	3	370,000	
神流町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下仁田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南牧村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甘楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	
中之条町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	
長野原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
嬬恋村	0	0	0	0	0	0	0	0	2	160,000	0	0	1	500,000	0	0	0	0	0	0	3	660,000	
草津町	1	270,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	270,000	
高山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東吾妻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
片品村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	
川場村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
昭和村	0	0	0	0	0	0	1	41,000	0	0	0	0	1	315,000	0	0	0	0	0	0	2	356,000	
みなかみ町	0	0	0	0	0	0	1	122,000	3	230,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	352,000	
玉村町	1	240,000	1	400,000	0	0	1	100,000	5	430,000	0	0	1	109,000	0	0	0	0	0	0	9	1,279,000	
板倉町	0	0	0	0	0	0	1	83,000	1	100,000	0	0	1	492,000	0	0	0	0	0	0	3	675,000	
明和町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	200,000	0	0	1	205,000	0	0	0	0	0	0	3	405,000	
千代田町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	
大泉町	0	0	0	0	0	0	2	1,906,000	4	355,000	0	0	15	8,653,000	0	0	0	0	0	0	21	10,914,000	
邑楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	2	3,620,000	0	0	0	0	0	0	3	3,720,000	
合計	5	1,566,000	2	555,000	2	220,000	51	10,240,000	80	6,240,000	0	0	99	66,122,000	0	0	4	16,574,000	0	0	243	101,517,000	

⑤児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

(ア) 生活支援費、家賃支援費、資格取得支援費の貸付

県内の児童養護施設等に入所中又はこれらを退所した者、及び里親等に委託中、又は委託を解除された者で、就職や大学等への進学をしたが、保護者からの経済的支援を受けられない等の理由により生活基盤の確保が困難な状況である者に対し、自立を支援するため貸付事業を実施した。

資金種類	件数	金額（円）
生活支援費	2	2,300,000
家賃支援費	2	1,035,000
資格取得費	1	250,000
合 計	5	3,585,000

(3) 社会福祉法人等の連携強化

県域、市町村域、法人単位で「地域における公益的な取組」など社会福祉法人の連携を進めた。また、福祉サービスの質の向上に向けて、第三者評価事業、運営適正化委員会を実施した。

①地域における公益的な取組の推進

(ア) 各法人単位の取組への支援

社会福祉法人の地域における公益的な取組に関する支援を行った。

(a) 群馬県ふくし総合相談支援事業

なんでも福祉相談員の設置、研修や相談窓口設置を通じて、社会福祉法人の地域における公益的な取組の支援を行った。

(b) 現況報告書における「地域における公益的な取組」の調査

○令和6年度未記載法人を対象調査

全ての法人で現況報告書に「地域における公益的な取組」が記載されるよう、令和6年度現況報告作成の時期に調査（88 法人対象）を実施した。

②市町村域における社会福祉法人間のネットワーク体制の整備

(ア) 市町村法人連絡会等の設立支援

1 市町村設立（伊勢崎市）

(イ) 市町村法人連絡会等の情報提供など運営支援

(a) 状況調査

設立済の法人連絡会の状況を把握と今後の支援策の検討をするため、20 市町村社協を対象に調査をした。

③県域における社会福祉法人間のネットワーク体制の整備

(ア) 市町村社会福祉法人連絡会における情報交換会

期日・場所等	内 容
1 月 22 日 前橋市 参加者 40 名	基調・事例報告 「伊勢崎市社会福祉法人連絡会の設立・取組みについて」 伊勢崎市社会福祉法人連絡会 会長 島田 幸治 氏 事例報告 「安中市社会福祉法人連絡会の取組みについて」 安中市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 岡本 裕介 氏 情報交換

(イ) 群馬県ふくし総合相談支援事業の実施

(a) 参加法人・なんでも福祉相談員

参加法人 190 法人

相談員 466 名

(b) 全体会議

期日・場所等	内 容
4 月 18 日 前橋市 参加者 91 名	・令和 6 年度事業報告について ・令和 7 年度事業計画について

(c) 運営委員会

期日・場所等	内 容
2 月 20 日 前橋市 参加者 17 名	・令和 7 年度の事業実施状況について ・令和 8 年度の方向性について

(d) 事業推進委員会

期日・場所等	内 容
6 月 13 日 前橋市 参加者 15 名	・令和 6 年度の実施状況について ・令和 7 年度の事業実施について
1 月 27 日 前橋市 参加者 15 名	・令和 7 年度事業実施状況について ・令和 8 年度の事業実施の方向性について

(e) 地区別連絡会議

期日・場所等	内 容
8 月 22 日 沼田市 参加者 8 名	事務局説明「群馬県ふくし総合相談支援事業について」 事例検討（グループワーク）

期日・場所等	内 容
8 月 26 日 前橋市 参加者 23 名	事務局説明「群馬県ふくし総合相談支援事業について」 事例検討（グループワーク）
8 月 27 日 安中市 参加者 21 名	事務局説明「群馬県ふくし総合相談支援事業について」 事例検討（グループワーク）
9 月 4 日 中之条町 参加者 27 名	事務局説明「群馬県ふくし総合相談支援事業について」 事例検討（グループワーク）
9 月 8 日 太田市 参加者 22 名	事務局説明「群馬県ふくし総合相談支援事業について」 事例検討（グループワーク）

（f）研修

期日・場所等	内 容
4 月 18 日 前橋市 参加者 91 名	【相談員研修】 講義「孤独・孤立対策と社会福祉法人（なんでも福祉相談員）の役割」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
5 月 1 日～7 月 31 日 （動画配信） 参加者 31 名	【新任者研修】 事務局説明「なんでも福祉相談事業について」 講義「社会福祉法人に求められる地域化」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 実践事例発表 ①「済生会前橋病院」 発表者 社会福祉法人済生会済生会前橋病院 医療相談員 池田 瑞保 ②「児童家庭支援ホーム希望館」 発表者 社会福祉法人希望館 児童家庭支援ホーム希望館 相談員 箱田 久美子

（e）つながりサポーター養成講座（講師協力）

期日・場所等	内 容
6 月 24 日 沼田市 参加者 50 名	「令和 7 年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人尾瀬長寿会・特別養護老人ホーム桜花苑 （群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員） 星野 駿人
6 月 27 日 高崎市 参加者 51 名	「令和 7 年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人二之沢愛育会・障害者支援施設大地 （群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員） 中曽根 隆久 社会福祉法人はるな郷・かつら荘 （群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員） 下山 雄二

期日・場所等	内 容
7月1日 中之条町 参加者 33 名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人薫英会・ワークショップくんえい (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 五十嵐 寛
7月7日 太田市 参加者 56 名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人光徳会・ロータスヴィレッジ (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 須永 桂
7月9日 前橋市 参加者 92 名	「令和7年度つながりサポーター養成講座」 講師 社会福祉法人恩賜財団済生会・群馬県済生会前橋病院 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員) 池田 瑞保

(f) なんでも福祉相談出張相談

期日・場所等	内 容
5月1日・2日 伊勢崎市	第22回あったかぐんまのハートバザール 相談員 7 名(伊勢崎・玉村町) 相談 3 件
7月5日 みどり市	ふくしマルシェ in つばさ 相談員 8 名(桐生・みどり) 相談 0 件
9月6日 高崎市	2025 年度コープぐんまフェスタ 相談員 12 名(高崎・安中) 相談 4 件
10月8日 前橋市	県庁 de バザール 相談員 5 名(前橋) 相談 4 件
10月26日 吉岡町	だれでもフェスタ 2025 相談員 6 名(渋川・北群馬) 相談 2 件
11月1日 渋川市	つながるフェスティバル 相談員 8 名(渋川・北群馬) 相談 2 件
11月8日 渋川市	恵の園チャリティーバザー 相談員 4 名(渋川・北群馬) 相談 0 件
12月17日・18日 前橋市	第23回あったかぐんまのハートバザール 相談員 8 名(高崎) 相談 8 件
2月2日 伊勢崎市	第28回ぐんま S E L P S H O P in スマーク伊勢崎 相談員 6 名(伊勢崎・玉村) 相談 8 件
2月28日 藤岡市	ふじおかふれあいフェスタ 相談員 11 名(富岡・藤岡・多野・甘楽・高崎) 相談 4 件

④社会福祉法人等の経営基盤の強化

(ア) 経営相談事業

社会福祉法人及び社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と適切な利用者処遇の向上を目指して、経営指導員と連携して事業を実施した(経営指導員：税理士、社会保険労務士)。

相談内容	件数
1 施設経営一般	8
2 職員処遇	2
3 会計・税務	2
4 その他	2
合 計	14

⑤福祉サービスの質の向上に向けた取組

(ア) 福祉サービス第三者評価事業

福祉サービスの質の向上を目指し、第三者評価事業に取り組んだ。

(a) 福祉サービス評価推進センターぐんま（推進組織）の運営

・運営委員会

期日・場所等	内 容
第1回 3月13日 前橋市 委員5名	(1) 令和7年度事業報告について (2) 令和8年度事業計画について

・専門委員会

期日・場所等	内 容
8月8日 前橋市 委員3名	(第1回) 認証・公表専門委員会 ・受審結果の公表について (1件)
3月6日 前橋市 委員3名	(第2回) 認証・公表専門委員会 ・評価機関の認証について (1件) ・受審結果の公表について (2件)
8月4日 前橋市 委員7名	基準・研修専門委員会 ・評価調査者養成研修会について ・本評価・プレ評価について

・正副委員長等会議

期日・場所等	内 容
第1回 6月13日 前橋市 2名	・令和6年度事業報告について ・令和7年度事業計画について ・その他
第2回 8月4日 前橋市 2名	・評価調査者養成研修会について ・公表 (1件) について ・その他

期日・場所等	内 容
第3回 8月25日 前橋市 3名	・評価調査者養成研修会について ・その他
第4回 10月21日 前橋市 3名	・評価調査者養成研修会について ・評価機関の認証について ・その他
第5回 12月12日 前橋市 3名	・評価調査者養成研修会について ・その他

(b) 評価機関の認証

- ・令和7年度は、認証申請1件を不認証としたため、新たな評価機関の認証なし。

(c) 評価結果の公表

	法人名	施設名	評価実施機関
1	NPO法人 ライフワークアシスト	障害福祉サービス 短期入所 ライフアシスト館林	サービス評価センター はあとらんど
2	社会福祉法人 恵の園	障害者支援施設 めぐみの里	群馬社会福祉評価機構
3	社会福祉法人 杜の舎	生活介護 ワークショップありす	群馬社会福祉評価機構

(d) 評価調査者への研修

評価調査者養成研修会

■修了者数：18名（3評価機関＋1認証申請機関）

■講義1・講義2:オンデマンド配信（動画配信）

■演習・実習・まとめ:集合形式

期日・場所等	内 容
11月4日～12月7日 (動画配信) 参加者 18名	①第三者評価の理念と基本的な考え方 講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 准教授 原田 欣宏 ②第三者評価の全体像 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 ③第三者評価基準の理解と判断のポイント「共通評価」 講師 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター長 福田 敬 ④第三者評価基準の理解と判断のポイント「高齢福祉版」 講師 (一社)全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 田崎 基 ⑤第三者評価基準の理解と判断のポイント「障害者・児版」 講師 (一社)全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 河原 正明 ⑥第三者評価基準の理解と判断のポイント「保育版」 講師 (一社)全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 会員 猪俣 陽子 ⑦第三者評価基準の理解と判断のポイント「児童館・放課後児童クラブ版」 講師 (一社)全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 ⑧第三者評価基準の理解と判断のポイント「救護施設版」 講師 (一社)全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 副会長 右京 昌久
12月20日 前橋市 参加者 18名	演習 ①第三者評価基準の理解と判断のポイント「高齢福祉版」 講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 准教授 原田 欣宏 ②書面（事前）審査の着眼点 ③訪問調査の着眼点 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 准教授 原田 欣宏 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 講師 社会福祉法人三晃福祉会東光乳児院 施設長 本間 正彦
2月7日 渋川市 参加者 18名	実習 「施設訪問実習」 講師 社会福祉法人永光会（特養）清流の郷 施設長 大谷 義隆
2月28日 前橋市 参加者 18名	まとめ ①実習まとめ ②研修まとめ ③レポート作成 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 准教授 原田 欣宏 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 講師 社会福祉法人三晃福祉会東光乳児院 施設長 本間 正彦

(e) プレ評価の実施

施設数 7施設（高齢4施設、保育0施設、障害3施設）

評価調査者 9名（延べ人数）

(f) 広報啓発、受審促進

- ・プレ評価の実施 7施設
- ・事業所等訪問 延べ19施設
- ・福祉ぐんまの掲載（10月1日号）、SNS（Facebook、Instagram）での発信

(イ) 福祉サービス運営適正化委員会事業

(a) 福祉サービス運営適正化委員会（本委員会）

期日・場所等	内 容
第1回 6月11日 前橋市 参加委員8名	(1) 令和6年度福祉サービス運営適正化委員会の事業報告について (2) 令和7年度福祉サービス運営適正化委員会の事業計画について (3) その他

(b) 運営監視合議体開催状況

期日・場所等	内 容
第1回 6月11日 前橋市 参加委員6名	(1) 日常生活自立支援事業 事業報告について (2) 令和6年度社協訪問調査結果通知に対する改善報告について (3) 令和7年度基幹社協訪問調査について
第2回 10月23日 前橋市 参加委員6名	(1) 日常生活自立支援事業の実施状況について (2) 福祉サービス利用援助事業実施社協訪問調査の報告について (3) 福祉サービス利用援助事業実施社協訪問調査にかかる指摘事項等について (4) その他

(c) 福祉サービス利用援助事業実施社協に対する訪問調査

日常生活自立支援事業を実施する基幹的社会福祉協議会に対して、福祉サービス利用援助事業の実施状況について巡回指導を実施した。

期日	訪問先	巡回者
8月1日	太田市社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
7月23日	渋川市社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月8日	〃 北橋支所	事務局1名
8月8日	〃 伊香保支所	事務局1名
8月28日	藤岡市社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
9月8日	〃 鬼石支所	事務局1名
7月23日	中之条町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月22日	〃 六合支所	事務局1名
7月29日	長野原町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名

期日	訪問先	巡回者
7月31日	孺恋村社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
7月29日	草津町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
7月31日	東吾妻町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月26日	明和町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月21日	千代田町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月21日	大泉町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名
8月26日	邑楽町社会福祉協議会	委員1名、事務局1名

(d) 苦情解決合議体開催状況

期日・場所等	内 容
4月25日 前橋市 参加委員6名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他
6月11日 前橋市 参加委員6名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他
期日・場所等	内 容
8月6日 前橋市 参加委員5名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他
10月31日 前橋市 参加委員5名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他
12月12日 前橋市 参加委員5名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他
2月27日 前橋市 参加委員6名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) その他

(e) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

・受付件数（受付方法別）

	受 付 方 法			
	来所	書面・電話	その他 (メール・郵送等)	計
件 数	5	45	1	51

・種別及び申出人の属性

区分	利用者	家族	代理人	職員	その他	計
高齢者	3	12	0	1	1	17
障害者	15	4	1	2	0	22
児 童	0	12	0	0	0	12
その他	0	0	0	0	0	0
合 計	18	28	1	3	1	51

・種別並びに受付内容の区分

区 分	苦 情							
	苦情受付件数	苦情解決の結果						
		①相談援助	②紹介伝達	③あっせん	④県へ通知	⑤その他	⑥継続中	⑦意見・要望
①サービス内容（職員の接遇）	7	4	2	0	0	1	0	0
②サービス内容（サービスの質や量）	8	4	4	0	0	0	0	0
③説明・情報提供	6	3	3	0	0	0	0	0
④利用料	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤被害・損害	13	4	9	0	0	0	0	0
⑥権利侵害	3	0	3	0	0	0	0	0
⑦その他	1	8	5	0	0	1	0	0
合 計	51	23	26	0	0	2	0	0

（f）事業者訪問

期日・場所等	内 容
11月11日 前橋市 事務局1名	苦情対応研修会への参加 社会福祉法人 富士見会

（g）選考委員会の開催状況

期日・場所等	内 容
第1回 4月23日 (書面審議) 委員11名	運営適正化委員会委員の選任（欠員補充）

期日・場所等	内 容
第2回 2月13日 (書面審議) 委員12名	運営適正化委員会委員の選任(欠員補充)

(h) 福祉サービス苦情解決セミナー

期日・場所等	内 容
1月14日 前橋市 参加者141名	テーマ「福祉サービスにおける苦情解決の意義と対応の実際」 講師 駒澤大学文学部社会学科 教授 川上 富雄

(i) 全国及び地方会議・研修会等

期日・場所等	内 容
7月7日 東京都 参加者1名	運営適正化委員会事業研究協議会 ・行政説明、説明、講義、情報交換
10月24日 東京都 参加者2名	関東ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会・相談員連絡会 ・事前アンケートを元にした協議・情報交換
11月6日 東京都 参加者1名	運営適正化委員会相談員研修会 ・説明、講義、情報交換、グループ協議、講義・演習

基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着

推進項目 1 福祉人材の確保に向けた取組の強化

(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進

群馬県福祉マンパワーセンター（福祉人材無料職業紹介所）と労働局やハローワークをはじめとする関係機関との連携を強化し、福祉業界への新規参入の促進を図った。

①福祉人材無料職業紹介所の充実・強化

(ア) 福祉人材無料職業紹介所

(a) 求人・求職等実績

区分	取扱件数	内 容	
登録	新規求人 6,228 名	県センター 2,831 名、高崎支所 1,997 名、東毛バンク 1,400 名	
	新規求職 1,808 名	県センター 959 名、高崎支所 456 名、東毛バンク 393 名	
紹介・採用	紹介・応募 291 名	県センター158 名、高崎支所 85 名、東毛バンク 48 名	
	採用 359 名 ※複数の分野にまたがって事業を行う求人があるため、各分野の合計と一致しない ※ぐんま保育士就職支援センターの実績を含む	県センター202 名	高齢関係分野 110 名
			障害関係分野 26 名
			児童関係分野 77 名
			その他福祉分野 3 名
		高崎支所 99 名	高齢関係分野 72 名
			障害関係分野 17 名
			児童関係分野 11 名
			その他福祉分野 9 名
		東毛バンク 58 名	高齢関係分野 50 名
			障害関係分野 11 名
			児童関係分野 3 名
			その他福祉分野 13 名
求人求職相談	求人相談 4,203 件	来所 116 件、電話 3,427 件、FAX 18 件、郵便 113 件、メール 524 件、SNS 5 件	
	求職相談 10,316 件	来所(出張相談含) 1,486 件、電話 2,208 件、FAX 12 件、郵便 3,866 件、メール 440 件、SNS 2,183 件、職場説明会等 121 件	
届出	離職介護人材 32 件	届出累計 542 件	
	離職保育人材 175 件	届出累計 274 件	

※県センター…群馬県福祉マンパワーセンター

高崎支所 …群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所

東毛バンク…群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク

※ぐんま保育士就職支援センターの実績を含む

(b) 情報提供・広報

- ・LINE によるメッセージ配信
- ・Instagram・Facebook 投稿
- ・Google 検索広告
- ・「福祉人材ニュース」の発行
- ・イベント情報等の郵送を希望する求職者に対し、「福祉人材ニュース」及び求人一覧を送付
- ・エフエム群馬 CM放送「【伊勢崎】地区別福祉の仕事フェア就職相談会」
CM放送「ぐんま保育士就職支援センター」
- ・上毛新聞 「ぐんまの介護・福祉 就職ガイドブック」、
- ・毎日新聞 介護の日記事掲載
- ・各市町村広報紙 イベント広告掲載
- ・求人ジャーナルチラシ・フリーペーパー イベント広告掲載
- ・福祉ぐんま イベント広告、事業紹介掲載
- ・県社協封筒 群馬県福祉人材センター広告掲載
- ・Instagram広告 イベント広告
- ・「教育・保育のキャリアアップ研修等事業」「各種貸付事業」送付物のチラシ同封
- ・「保育ぐんま6月号」事業紹介記事掲載
- ・上毛新聞「ぐんまで保育 就職ガイドブック」掲載
- ・上毛新聞「養成校事業説明」記事掲載(R7.7.23)
- ・上毛新聞「出張相談」記事掲載(R8.3.12)
- ・保育士シンガーソングライターいわしピクニック氏によるぐんま保育士就職支援センターPR動画を4本制作。県社協広報媒体（Instagram、YouTube、ホームページ）および同氏 Instagramに掲載し周知を行った

(c) 啓発活動の強化

- ・啓発活動としてイベントの開催や事業協力を行った。

期日・場所等	内容
4月18日 渋川市	渋川青翠高校 福祉の仕事説明会
7月8日 前橋市	マイナビ進学LIVE・ミライバシ2025 ワークショップブース出展
10月18日 前橋市	RUN伴ぐんま2025 ゴールイベント ブース出展

(d) 運営委員会

期日・場所等	内容
9月3日 前橋市 参加者19名	・令和6・7年度事業実施状況と今後の取組みについて

(イ) 他機関との連携

(a) 福祉人材確保に関する関係機関情報交換会

期日・場所等	参加団体／内容
3月6日 前橋市 参加者 23 名	(参加団体) 群馬県社会福祉施設経営者協議会、群馬県老人福祉施設協議会、群馬県保育協議会、群馬県知的障害者福祉協会、群馬労働局、前橋公共職業安定所、高崎公共職業安定所、介護労働安定センター、群馬県地域福祉課・こども・子育て支援課・労働政策課、群馬県社会福祉協議会（群馬県福祉マンパワーセンター） (内容) ・群馬労働局説明 ・群馬県福祉マンパワーセンター報告・説明 ・情報交換

(b) 養成施設・研修施設等での出張説明

会場	回数	参加者
群馬医療福祉大学	1	35
群馬医療福祉短期大学	1	9
伊勢崎市入門的研修	2	23
介護労働安定センター	1	44
群馬社会福祉専門学校	2	25
さくらカルチャーセンター伊勢崎	1	10
さくらカルチャーセンター渋川	1	5
はたか会介護研修センター	4	48
高崎福祉医療カレッジ	2	16
じゃんけんぽん初任者研修	2	16
藤岡市介護に関する入門的研修	1	16
高崎市ゼロからはじめる介護職研修	2	13
ようざん初任者研修	2	19
合計	22	279

(c) 他機関が実施する就職相談会等への協力

- ・令和7年度群馬県任期制隊員合同企業説明会（一般財団法人自衛隊援護協会東京支部主催）1回
- ・「介護と福祉のおしごと就職相談会」（上毛新聞社主催）1回
- ・「オールぐんま移住フェア 2025」（群馬県ぐんま暮らし・外国人活躍推進課主催）1回
- ・福祉・介護業界就職セミナー（株式会社マイナビ主催）登壇1回

- ・医療・福祉業界研究セミナー（群馬医療福祉大学主催） 1 回

(ウ) 新規参入促進・潜在福祉人材の発掘

(a) 福祉の裾野を広げる体験事業

福祉職未経験者等を対象として、短期間の雇用契約を締結し職場体験を行う事業を実施した。

- ・福祉の裾野を広げる体験事業の相談やマッチングを行った。

分野	利用者数	就職者数
高齢	2 名	1 名
障害	4 名	0 名
児童（保育）	9 名	9 名
合計	15 名	10 名

②群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所、群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンクの活動強化

(ア) 群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所、群馬県東毛地区福祉人材バンクとの連携強化

(a) 連絡会議

期日・場所等	内容
5 月 19 日 太田市 参加者 13 名	・令和 6 年度の実績および令和 7 年度の事業目標について ・情報交換
8 月 21 日 太田市 参加者 7 名	・令和 7 年度の事業実施状況について ・情報交換

③ぐんま保育士就職支援センター運営事業

県内の保育人材の安定的な確保を図ることを目的に、保育の求職・求人に特化した「ぐんま保育士就職支援センター」を設置・運営し、保育現場での就職を希望する保育士、保育教諭及び保育補助者（以下「保育士等」）と保育士等を求める県内保育所等の支援を行った。

(ア) 保育士等から就職相談を受け、適切な勤務先を提案し、就職支援を行った。

区分	取扱件数	内容	
登録	新規求人 717 件	保育士・保育教諭	451 件
		上記以外	266 件
	新規求職 350 件		

区分	取扱件数	内容	
紹介・採用 ※紹介状発行は 福祉マンパワー センターによる もの	紹介・応募 73 件	紹介 50 件・応募 23 件	
	採用 66 件 ※保育士・保育教諭が 保育所、認定こども園、 企業主導型保育所、地域 型保育事業所、認可外 保育施設に就職した件 数・・・49 件	保育所	27 件
		認定こども園	27 件
		企業主導型保育事業所	0 件
		地域型保育事業所	0 件
		認可外保育施設	0 件
		放課後児童クラブ	1 件
		他児童福祉施設	0 件
		幼稚園	1 件
		その他	10 件
求人求職 相談	求人相談 912 件	来所 4 件、電話 861 件、FAX5 件、 郵便 18 件、メール 24 件	
	求職相談 1,563 件	来所 135 件、電話 484 件、郵便 192 件、 メール 225 件、SNS477 件、相談会 50 件	

②保育士・保育所支援センターの運営

・福祉マンパワーセンター、マンパワーセンター高崎支所等との共催により就職に関する相談会を開催した。

期日・場所等	内容
6 月 28 日 高崎市	【高崎】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展
7 月 17 日 高崎市	【渋川】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展 保育分野 1 法人ブース出展
8 月 15 日 藤岡市	【藤岡・新町】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展 保育分野 1 法人ブース出展
9 月 13 日 伊勢崎市	【伊勢崎】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展 保育分野 1 法人ブース出展
10 月 17 日 伊勢崎市	【吾妻】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展
12 月 3 日 沼田市	【沼田・利根】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展 保育分野 1 法人ブース出展
期日・場所等	内容
1 月 24 日 安中市	【安中・富岡】地区別福祉の仕事フェア 個別相談ブース出展

・保育関係団体等が主催する就職相談会等への連携協力を行った。

期日・場所等	内容
7月6日 高崎市	幼保認こ合同就職説明会 in ぐんま 2025 (主催：群馬県幼保認こ委員会) 個別相談ブース出展
7月26日 伊勢崎市	就活フェス in いせさき 2025 (主催：伊勢崎市私立保育園会) 個別相談ブース出展

・ハローワークと共催し、潜在保育士等を対象としたセミナーおよび相談会・施設見学会を開催した。

期日・場所等	内容
5月7日 高崎市 参加者 23 名	「保育士応援セミナー」 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子
9月11日 富岡市 参加者 3 名	「保育士応援セミナー in 富岡」 ①保育の仕事を知るセミナー 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子 ②施設見学 学校法人龍光寺学園とみおかこども園
12月15日 前橋市 参加者 36 名	「保育士キャリア応援セミナー&相談会」 ①保育・福祉で働くセミナー 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子 社会福祉法人栗ノ木会大手町くりの木保育園 副園長 栗木 麻衣 社会福祉法人三山黎明会サニーズマーケット 施設長 石倉 敦也 ②保育・福祉のお仕事個別相談会 5ブースによる個別相談
1月21日 太田市 参加者 11 名	「保育業務応援セミナー」 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子
1月27日 高崎市 参加者 14 名	「保育のお仕事応援フェア」 ①保育士応援セミナー 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子 ②企業 PR 会&相談会 7ブースによる個別相談

・潜在保育士等を対象に、今後の復職等を視野に入れた情報交換を行う「ほいくしカフェ」を開催した。

期日・場所等	参加者数	就職支援者数	就職者数
5月30日 烏川カフェ (高崎市)	8 名	1 名	1 名

期日・場所等	参加者数	就職支援者数	就職者数
9月26日 中澤カフェ（伊勢崎市）	6名	2名	2名
2月4日 サザンメイドカフェ（前橋市）	9名	1名	1名
3月16日 ヴァンダラスト（太田市）	5名	0名	0名
合計	28名	4名	4名

- ・新人保育士を対象に、悩みの相談や情報交換を行う「新米はいくしカフェ」を開催した。

期日・場所等	参加者数
6月7日 群馬県社会福祉総合センター （前橋市）	3名

- ・保育士就職のマッチング機能の強化および保育士・保育所支援センターのPRを目的に、出張相談を実施した。

場所	実施回数	相談者数
前橋市子育てひろば（前橋市）	10	9
ハローワーク太田（太田市）	4	5
イオンモール高崎（高崎市）	1	3
スマーク伊勢崎（伊勢崎市）	1	6
イオンモール太田（太田市）	1	2

- ・求人・求職のミスマッチを防ぐため、保育所等の見学会と保育所等で働く体験事業を実施した。

保育所等の見学：101回

体験事業：9名

- ・保育士等へさまざまな媒体を活用し、広報周知を行った。

○LINEによるメッセージ配信

○Instagram・Facebook 投稿

○Google 検索広告

○「福祉人材ニュース」の発行

○求職者に対し、「福祉人材ニュース」及び求人一覧を送付

○「教育・保育のキャリアアップ研修等事業」「各種貸付事業」送付物のチラシ同封

○エフエム群馬 CM 放送「ぐんま保育士就職支援センター」

○「保育ぐんま6月号」事業紹介記事掲載

○上毛新聞「ぐんまで保育就職ガイドブック」掲載

○上毛新聞「養成校事業説明」記事掲載（R7.7.23）

○上毛新聞「出張相談」記事掲載（R8.3.12）

○各市町村広報紙イベント広告掲載

○福祉ぐんまイベント広告、事業紹介掲載

○保育士シンガーソングライターいわしピクニック氏によるぐんま保育士就職支援センターPR

動画を4本制作。県社協広報媒体（Instagram、YouTube、ホームページ）および同氏 Instagram に掲載し周知を行った

- ・県と共催し、中学生・高校生とその保護者を対象に幼児教育・保育の魅力発信バスツアーを実施した。

期日・場所等	内容
8月20日 前橋市 参加者44名	①園訪問(Surusu 上陽こども園、上滝こども園) ②保育のワークショップ ③保育の仕事・魅力に関する講演 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子

③保育士離職者届出制度の運用

- ・広報資料を作成し、令和7年度保育士の就業に関するアンケート調査に同封し保育士資格登録者15,419名に送付した。
- ・保育士養成校の学生向けに事業説明会を実施し、届出制度の活用や、ぐんま保育士就職支援センターの利用促進を図った。

会場	実施回数
群馬社会福祉専門学校	1回
群馬医療福祉大学	1回
大泉保育福祉専門学校	1回
新島学園短期大学	1回
合計	4回

- ・事業や制度周知及び情報収集を目的とし、保育所等や保育士養成校訪問を実施した。

訪問先種別	訪問件数
養成校	11件
保育所等	14件

④関係機関との連携会議の運営

- ・関係団体と保育人材確保に関する情報交換を行った。

内容	詳細
各市町村園長会に対する説明会	みどり市
各自治体との連携会議等	前橋市、高崎市
ハローワークとの情報交換	前橋、高崎、太田
福祉人材確保に関する情報交換会	1回
まえばし保育ネットワーク	1回
高崎市保育士情報ステーション	2回

⑤令和7年度潜在保育士等実態調査アンケートの実施

- ・保育士等の就業に関するアンケート調査を実施した。
○保育士の就業状況に関するアンケート調査 回答数：3,612名

○指定保育士養成施設学生の就業意識に関するアンケート調査 回答数：766 名

(2) 福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援

イベント開催による求人事業所・求職者のマッチングや、求職者等に対する個別的な支援を実施した。

また、福祉施設職員等の福利厚生の実施を図る取組や、新たな福祉人材の担い手確保に向けた各種貸付事業の実施を通じて福祉人材の確保・定着を推進した。

①求職者のマッチング率の向上に向けた取組

(ア) 就職相談会

(a) 福祉の仕事フェア・お仕事相談会

期日・場所等	地区等	参加法人	参加者	採用数
群馬県福祉マンパワーセンター主催				
7月17日・渋川市	渋川地区	11 法人	26 名	2 名
9月13日・伊勢崎市	伊勢崎・玉村地区	15 法人	39 名	1 名
10月17日・中之条町	吾妻郡地区	5 法人	13 名	0 名
11月16日・前橋市	前橋地区	8 法人	31 名	4 名
12月3日・沼田市	利根・沼田地区	7 法人	13 名	0 名
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所主催				
6月28日・高崎市	高崎地区	15 法人	57 名	3 名
8月15日・藤岡市	藤岡・新町地区	9 法人	35 名	4 名
1月24日・安中市	安中・富岡地区	7 法人	7 名	0 名
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク主催				
6月22日・桐生市	東毛地区	16 法人	22 名	4 名
11月24日・館林市	東毛地区	10 法人	21 名	1 名
2月11日・太田市	東毛地区	20 法人	29 名	4 名
合計		123 法人	293 名	23 名

(b) 福祉の仕事フェア・お仕事相談会（マッチング）

期日・場所等	名称	参加法人	参加者	採用数
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所主催				
10月22日・高崎市	家庭も仕事も大切にしたい方の仕事相談会	10 法人	20 名	3 名
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク主催				
9月3日・太田市	東毛地区福祉のお仕事相談会（高齢者施設）	5 法人	27 名	1 名
9月4日・太田市	東毛地区別福祉の仕事相談会（障がい者施設）	5 法人	20 名	2 名
合計		20 法人	67 名	6 名

(c) ガイダンス

・福祉の仕事ガイダンス

期日・場所等	内容
群馬県福祉マンパワーセンター主催	
2月17日 前橋市 参加者12名	テーマ「障害者支援について」 講師 社会福祉法人ゆずりは会 障がい福祉相談支援事業所ぽっか管理者 真部 暁
3月17日 前橋市 参加者6名	テーマ「福祉の魅力」～人生を支えるために～ 講師 特定非営利活動法人三和会 理事長認知症介護指導者 三俣 和哉
3月19日 前橋市 参加者12名	テーマ「紙おむつの基本的な当て方・特性について」 講師 株式会社リブドゥコーポレーション ライフケア営業本部 高野 里美 ライフケア事業部 渡部 勇斗
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所主催	
9月12日 前橋市 参加者5名	テーマ「キャリアプラン作成セミナー」 講師 株式会社ワークエントリーぐんま 事業部長 太田 広子
2月19日 高崎市 参加者16名	テーマ「重度訪問介護を知る」 講師 株式会社ミレニアム介護事業所みつれ高崎 管理者 栗原 優子
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク主催	
2月19日 太田市 参加者15名	テーマ「今」福祉現場に求められるもの ～その人らしさを紡ぐために～ 講師 社会福祉法人群馬県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム菱風園 園長 松井 泰俊

・セミナー、研修会

介護職員及び福祉分野に関心のある求職者を支援するため、介護等に関する知識や技術を高めるためのセミナーや研修会を開催した。

期日・場所等	内容
11月16日 介護の日のイベント 前橋市 参加者47名	テーマ『働きやすさが高めるケアの質』 ～技術と発想で変わり続ける介護最前線～ 講師・パネリスト 社会福祉法人恵風会養護老人ホーム前橋老人ホーム 特別養護老人ホーム恵風園 前橋市恵風園デイサービスセンター 社会福祉法人新生会特別養護老人ホーム誠の園 ファシリテーター 群馬医療福祉大学 地域連携・キャリアセンターセンター長 長津 一博 インフルエンサーTAKUMA [※] (介護福祉士)

(イ) 施設見学会

(a) 集合型施設見学会

期日・場所等	内容
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク主催	
5月28日 太田市 参加者4名	医療法人野村医院 のむら陽光園
12月4日 太田市 参加者8名	有限会社一陽 居宅介護施設マゼンタ
3月6日 みどり市 参加者7名	医療法人日望会 介護老人保健施設 サンホープ笠懸

(b) 個別施設見学調整

求職者一人一人に合った就職先を提案し、マッチング率の向上を図るため、採用面接前事前施設見学の調整を行った。

中北毛地域 297 件、西毛地区 99 件、東毛地区 33 件

(ウ) キャリア支援専門員による個別支援

(a) 求職相談

相談・採用件数（延べ数）	内訳（延べ数）
群馬県福祉マンパワーセンター	
相談件数 2,967 件	来所相談 472 件 電話相談 643 件 郵送・FAX 348 件 メール 47 件 SNS 1,457 件
採用件数 134 件	c o o l システム 77 件 c o o l システム以外 57 件
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所	
相談件数 1,828 件	来所相談 169 件 電話相談 1,206 件 郵送・FAX 160 件 メール 82 件 SNS 211 件
採用件数 99 件	c o o l システム 60 件 c o o l システム以外 39 件

相談・採用件数（延べ数）	内訳（延べ数）
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク	
相談件数 675 件	来所相談 151 件 電話相談 256 件 郵送・FAX 20 件 メール 62 件 SNS 186 件
採用件数 61 件	c o o l システム 38 件 c o o l システム以外 23 件
相談件数 5,470 件 採用件数 294 件	

※福祉の裾野を広げる体験事業利用者にかかるマッチング件数を含む。

（b）就労後相談

センター・バンク	相談件数（延べ数）	内訳
群馬県福祉マンパワーセンター	相談件数 44 件	来所相談 7 件
		電話相談 32 件
		訪問相談 5 件
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	相談件数 8 件	来所相談 3 件
		電話相談 5 件
		訪問相談 0 件
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	相談件数 0 件	来所相談 0 件
		電話相談 0 件
		訪問相談 0 件
合計	52 件	

（c）ハローワーク出張相談

主催	会場	相談日	相談件数 （延べ数）
群馬県福祉マンパワーセンター	ハローワーク渋川	毎月第 4 水曜日	7 件
	ハローワーク中之条	毎月第 4 月曜日	40 件
	ハローワーク沼田	毎月第 2 水曜日	4 件
	ハローワーク伊勢崎	毎月第 1 月曜日	28 件
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	ハローワーク藤岡	毎月第 1 火曜日	1 件
	ハローワーク安中	毎月第 3 水曜日	13 件
	ハローワーク富岡	毎月第 1 水曜日	4 件

主催	会場	相談日	相談件数 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	ハローワーク桐生	毎月第2火曜日	7件
	ハローワーク館林	毎月第3火曜日	29件
合計			133件

②福祉人材の定着支援の促進

(ア) 福祉人材確保・定着支援セミナー

期日・場所等	内容
3月5日 (web開催) 受講者34名	講義「人材確保と定着支援について」 講師株式会社HRディレクション・パートナーズ 代表取締役 平尾 英治

(イ) 施設・事業所への訪問

センター・バンク	施設・事業所 (延べ数)	内訳 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	88施設・事業所	高齢関係分野 61施設・事業所
		障害関係分野 17施設・事業所
		その他関係分野 10施設・事業所
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	293施設・事業所	高齢関係分野 193施設・事業所
		障害関係分野 77施設・事業所
		その他関係分野 23施設・事業所
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	57施設・事業所	高齢関係分野 46施設・事業所
		障害関係分野 10施設・事業所
		その他関係分野 1施設・事業所
合計	438施設・事業所	

(ウ) 新人ケアマネ café の開催

ケアマネとして働き始めた当事者向けの情報交換会「新人ケアマネ cafe」を開催した。

期日	会場	参加者数
7月12日	社会福祉総合センター	14名

(エ) 訪問介護人材参入促進事業

訪問介護に対して抱いているイメージを向上させ、訪問介護人材の確保及び定着を図るため、魅力発信ブースの設置とセミナーを開催した。

期日・場所等	内容
12月3日 沼田市 参加者5名	福祉の仕事フェアでの魅力発信ブースの設置 講師 群馬県ホームヘルパー協議会 募金担当者 山口 伊佐子
1月24日 安中市 参加者2名 (うち採用者1名)	福祉の仕事フェアでの魅力発信ブースの設置 講師 群馬県ホームヘルパー協議会 副会長 石井 亮子

期日・場所等	内容
2月26日 中之条町 参加者1名	訪問介護まるわかりセミナー 講師 群馬県ホームヘルパー協議会 副会長 桑原 圭子
3月3日 高崎市 参加者7名	訪問介護まるわかりセミナー 講師 群馬県ホームヘルパー協議会 認定介護技術トレーナー 小見 佐和子

(オ) 介護職員相談サポートセンター

(a) 方法別相談件数

月	相談方法			計
	電話	来所	メール	
4月	15	2	7	24
5月	19	8	8	35
6月	19	16	7	42
7月	17	11	9	37
8月	13	2	9	24
9月	16	8	4	28
10月	9	8	3	20
11月	8	8	2	18
12月	14	7	3	24
1月	9	1	2	12
2月	10	3	7	20
3月	14	6	6	26
合計	163	80	67	310

(b) 内容・方法別相談件数

相談内容	相談方法			計
	電話	来所	メール	
労働条件	35	28	21	84
業務内容・量	37	15	24	76
利用者等	20	8	8	36
人間関係	79	29	43	151
キャリア形成	11	4	4	19
離職・転職	84	64	34	182
健康面	52	19	6	77
生活全面	40	14	1	55

相談内容	相談方法			計
	電話	来所	メール	
その他	44	32	25	101
合計	402	213	166	781

※相談内容は1件につき複数相談有

(c) かいごしょくカフェの開催

介護・福祉の仕事で働く当事者向けの情報交換会「かいごしょくカフェ」を開催した。

期日	会場	参加者数
10月14日	社会福祉総合センター	14名
3月10日	高崎市労使会館	9名

(カ) 福利厚生センター（ソウェルクラブぐんま）事業

福利厚生センターから都道府県事務局を受託し、会員同士の親睦やリフレッシュを目的とした旅行、食事会などの会員交流事業等を実施した。

(a) 加入状況（令和8年3月31日時点）

加入法人数	加入者数
106法人（237事業所）	4,450名

(b) ソウェルクラブぐんま企画委員会

期日・場所等	内容
4月21日 前橋市 (集合開催) 参加者7名	(1) 委員長の選出について (2) 令和6年度福利厚生センター事業報告について (3) 令和7年度会員交流事業の実施案について (4) 情報交換

(c) 会員交流事業

期日・場所等	内容
7月7日 ～9月30日 群馬県内 参加者386名	グルメでリフレッシュ第1弾 「レストランスワン」食事券配布
8月24日 前橋市 参加者100名	劇団四季『赤毛のアン』 前橋公演鑑賞券配布
2月7日 2月14日 千葉県 参加者374名	東京ディズニーリゾート1デーパスポート配布
有効期限無し 全国 参加者200名	グルメでリフレッシュ第2弾 『朝鮮飯店』商品券配布

期日・場所等	内容
有効期限無し 全国 参加者 431 名	グルメでリフレッシュ第3弾 ジェフグルメカード配布

(d) 地域開発メニュー

令和7年度新規登録事業者無し

(キ) 県社協民間社会福祉施設等職員共済事業

(a) 加入状況 (R8.3.31 現在) 442 法人・1,156 施設／18,080 人

- ・老人福祉関係施設 474 施設／6,714 人
- ・児童・障害福祉関係施設 276 施設／4,159 人
- ・保育園関係施設 362 施設／6,425 人
- ・社会福祉団体 44 施設／782 人

(b) 退職手当支払資金・福利厚生給付金決定状況

- ・退職手当支払資金 1,596 件／173,686,025 円
- ・福利厚生給付金 15,202 件／167,000,829 円
 - ・死亡弔慰金 38 件／5,560,000 円
 - ・傷病見舞金 143 件／3,025,500 円
 - ・結婚祝金 270 件／8,100,000 円
 - ・災害見舞金 4 件／230,000 円
 - ・出産祝金 394 件／9,850,000 円
 - ・入学祝金 1,649 件／14,502,000 円
 - ・長期勤続者慰労金 889 件／15,750,000 円
 - ・退職慰労金 1,614 件／83,991,000 円
 - ・特例退職慰労金 243 件／2,388,000 円
 - ・遺児育英資金 2 件／600,000 円
 - ・厚生保養費 10 件／10,000 円
 - ・生活習慣病予防検診助成金 6,236 件／20,026,329 円
 - ・レクリエーション事業助成金 3,710 件／2,968,000 円

(c) 運営委員会

期日・場所等	内容
2月27日 前橋市 参加者 5 名	・委員改選に伴う委員長、副委員長の選出 ・県単共済財政検証の結果概要及び今後の対応について ・県単共済事業実施の状況 ・県単共済事務システムに関する不具合発生と対応について

③新たな福祉人材の担い手確保に向けた貸付事業

(ア) 貸付制度を活用した資格取得及び就職支援

(a) 介護福祉士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
介護福祉士修学資金 (送金件数は R7 高校募集決定者含む)	106 件	229 件	182,748,798 円
介護福祉士修学資金高校募集 (R8 入学予定者)	5 件	0 件	0 円
実務者研修受講資金	100 件	98 件	11,898,626 円
合計	211 件	327 件	194,647,424 円

(b) 福祉系高校修学資金貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
福祉系高校修学資金	5 件	5 件	1,350,000 円

(c) 保育士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
保育士修学資金	55 件	117 件	75,733,630 円

(d) 潜在有資格者の就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
離職した介護人材の再就職準備金	29 件	24 件	9,600,000 円
潜在保育士就職準備金	15 件	12 件	2,400,000 円
合計	44 件	36 件	12,000,000 円

(e) 他業種等からの介護分野への就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
介護分野就職支援金	33 件	25 件	5,000,000 円
障害福祉分野就職支援金	11 件	13 件	2,600,000 円
合計	44 件	38 件	7,600,000 円

推進項目 2 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化

(1) 福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進

①福祉従事者に対する各種研修の実施

(ア) 研修管理システムの導入

新たに研修管理システムを導入し、参加申込、受講履歴の確認等において受講者の利便性を高めた。

(イ) キャリア形成に資する研修

福祉施設職員等に職位に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援するため研修会を実施した。

(a) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」

期日・場所等	内容
A 日程 6 月 27 日、7 月 4 日 (web 開催) 64 名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 コミュニケーションサポート 准教授 北爪 克洋 代表 齋藤 由起子
B 日程 7 月 25 日、8 月 1 日 前橋市 78 名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 コミュニケーションサポート 准教授 北爪 克洋 代表 齋藤 由起子
C 日程 8 月 22 日、8 月 29 日 前橋市 64 名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 コミュニケーションサポート 准教授 北爪 克洋 代表 齋藤 由起子
修了者 206 名	

(b) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」

期日・場所等	内容
A 日程 5 月 30 日、6 月 6 日 前橋市 56 名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 " 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔
B 日程 7 月 8 日、7 月 15 日 前橋市 88 名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 " 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔

期日・場所等	内容
C日程 8月19日、8月26日 (web開催) 57名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔 〃
修了者 201 名	

(c) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「チームリーダーコース」

期日・場所等	内容
A日程 9月11日、9月12日 前橋市 62名	講義・演習 講師 合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造
B日程 9月18日、9月19日 (web開催) 40名	講義・演習 講師 合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造
修了者 102 名	

(d) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「管理職員コース」

期日・場所等	内容
10月20日、10月27日 (web開催) 37名	講義・演習 講師 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 教授 久田 則夫
修了者 37 名	

(e) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程講師派遣事業「中堅職員コース」

期日・場所等	内容
2月10日、2月17日 富岡市 13名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔 〃
修了者 13 名	

(ウ) 福祉マネジメント力を高める研修

(a) 福祉マネジメント力を高める研修

- ・人材育成体制を強化し組織性を高める研修

期日・場所等	内容
9月5日、10月23日 前橋市 58名	テーマ「社会福祉事業者キャリアパス策定・運用研修」 講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔
9月16日、10月30日 前橋市 86名	テーマ「中堅職員 OJT 研修」 講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔
12月25日、1月22日 前橋市 89名	テーマ「リーダーOJT 研修」 講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔
2月9日 ～3月17日 (動画配信) 視聴回数 435回	テーマ「チームビルディング研修」 講師 株式会社プライマリーコンサルティング 代表 一色 秀志
3月6日 ～3月31日 (動画配信) 視聴回数 232回	テーマ「ストレスケア研修」 講師 株式会社プライマリーコンサルティング 代表 一色 秀志

(エ) 教育・保育のキャリアアップ研修等事業

保育士等に対してキャリアアップのための研修を実施した。

教育・保育のキャリアアップ研修については、第1期を集合型、第2、3期をeラーニング型研修として実施。教育・保育のステップアップ研修第1期から第2期については、集合型研修及びweb研修で実施。認可外保育施設研修、再就職希望者研修については、web研修で実施。

(a) 教育・保育のキャリアアップ研修第1期（集合・7分野）

期日・場所等	分野名	修了者	講師
6月24日 7月1日 7月22日 前橋市	11 乳児保育	117名	I 立正大学 教授 岡本 依子 II “ “ “ III “ “ “

期日・場所等	分野名	修了者	講師
7月4日 7月18日 7月29日 前橋市	21 幼児教育	85 名	I 新島学園短期大学 教授 渡邊 哲也 II " " " III " " "
7月23日 7月30日 8月7日 前橋市	31 障害児保育	109 名	I 育英短期大学 教授 栗山 宣夫 II " " " III 元育英短期大学 教授 倉林 正
8月8日 8月21日 8月28日 前橋市	41 食育・ アレルギー対応	105 名	I 共愛学園前橋国際大学短期大学 教授 神保 京子 II " " " III 高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子
8月6日 8月20日 8月27日 前橋市	51 保健衛生・ 安全対策	93 名	I 足利短期大学 教授 佐々木 由美子 II " " " III " " "
7月2日 7月9日 7月24日 前橋市	61 保護者支援・ 子育て支援	114 名	I 高崎健康福祉大学 教授 野田 敦史 II " " " III " " "
7月7日 7月14日 7月28日 前橋市	71 マネジメント	78 名	I 元関東短期大学 教授 森 静子 II " " " III " " "

(b) 教育・保育のキャリアアップ研修第2期 (e ラーニング・7分野)

視聴期間	分野名	修了者	講師 (各分野3講義を配信)
10月1日 ～10月31日	12 乳児保育	191 名	I 立正大学 教授 岡本 依子 II " " " III " " "
9月1日 ～9月30日	22 幼児教育	188 名	I 高崎健康福祉大学 教授 岡本 拓子 II " 助教 石川 徹 III " 教授 岡本 拓子

視聴期間	分野名	修了者	講師（各分野 3 講義を配信）
10 月 1 日 ～10 月 31 日	32 障害児保育	190 名	I 育英短期大学 教授 栗山 宣夫 II " " " III 元育英短期大学 教授 倉林 正
9 月 1 日 ～9 月 30 日	42 食育・ アレルギー対応	194 名	I 共愛学園前橋国際大学短期大学 教授 神保 京子 II " " " III 高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子
10 月 1 日 ～10 月 31 日	52 保健衛生・ 安全対策	192 名	I 足利短期大学 教授 佐々木 由美子 II " " " III " " "
10 月 1 日 ～10 月 31 日	62 保護者支援・ 子育て支援	195 名	I 高崎健康福祉大学 教授 野田 敦史 II " " " III " " "
9 月 1 日 ～9 月 30 日	72 マネジメント	199 名	I 東京立正短期大学 准教授 鈴木 健史 II " " " III " " "

（c）教育・保育のキャリアアップ研修第3期（e ラーニング・7 分野）

視聴期間	分野名	修了者	講師（各分野 3 講義を配信）
11 月 19 日 ～12 月 19 日	13 乳児保育	194 名	I 立正大学 教授 岡本 依子 II " " " III " " "
11 月 4 日 ～11 月 28 日	23 幼児教育	181 名	I 高崎健康福祉大学 教授 岡本 拓子 II " 助教 石川 徹 III " 教授 岡本 拓子
11 月 19 日 ～12 月 19 日	33 障害児保育	170 名	I 育英短期大学 教授 栗山 宣夫 II " " " III 元育英短期大学 教授 倉林 正
11 月 4 日 ～11 月 28 日	43 食育・ アレルギー対応	191 名	I 共愛学園前橋国際大学短期大学 教授 神保 京子 II " " " III 高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子
11 月 19 日 ～12 月 19 日	53 保健衛生・ 安全対策	160 名	I 足利短期大学 教授 佐々木 由美子 II " " " III " " "

視聴期間	分野名	修了者	講師（各分野 3 講義を配信）
11 月 19 日 ～12 月 19 日	63 保護者支援・ 子育て支援	184 名	I 高崎健康福祉大学 教授 野田 敦史 II “ ” “ ” III “ ” “ ”
11 月 4 日 ～11 月 28 日	73 マネジメント	143 名	I 東京立正短期大学 准教授 鈴木 健史 II “ ” “ ” III “ ” “ ”

（d）教育・保育のステップアップ研修第 1 期（3 分野）

期日・場所等	分野名	修了者	講師
12 月 11 日 (Web 開催)	インクルーシブ 保育	21 名	群馬県幼児教育センター 所長 中村 崇 共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原 篤彦
12 月 19 日 (Web 開催)	医療的ケア児への 支援	7 名	群馬大学大学院保健学研究科看護学講座 教授 金泉 志保美 群馬県医療的ケア児等支援センターやっほ EAST 職員 藤掛 美佐江 渋川市第五保育所 看護師 山本 由記子
1 月 21 日 1 月 26 日 (Web 開催)	保育現場における 食の安全	20 名	一般社団法人母子栄養協会 講師 シライカヨコ 一般社団法人母子栄養協会 講師 茅野 陽

（e）教育・保育のステップアップ研修第 2 期（3 分野）

期日・場所等	分野名	修了者	講師
1 月 30 日 前橋市	医療的ケア児への 支援	23 名	群馬大学大学院保健学研究科看護学講座 教授 金泉 志保美 群馬県医療的ケア児等支援センターやっほ EAST 職員 藤掛 美佐江 渋川市第五保育所 看護師 山本 由記子
2 月 2 日 前橋市	インクルーシブ 保育	32 名	群馬県幼児教育センター 所長 中村 崇 共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原 篤彦
2 月 4 日 2 月 16 日 (Web 開催)	保育現場における 食の安全	22 名	一般社団法人母子栄養協会 講師 シライカヨコ 一般社団法人母子栄養協会 講師 茅野 陽

(f) 認可外保育施設研修

期日・場所等	分野名	受講者	講師
2月17日 (web開催)	群馬県における 制度説明	15名	群馬県生活子ども部こども・子育て支援課 保育係主事 五十嵐 達哉
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	乳児期の発達と 保育内容	12名	元関東短期大学 教授 森 静子
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	幼児教育の基本 と環境	7名	前前橋市教育委員会 教育長 塩崎 政江
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	発達障害の正し い理解と対応	19名	共愛学園前橋国際大学短期大学部生活学科 教授 上原 篤彦
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	保護者支援の機 能と相談支援技 術	17名	立正大学 教授 岡本 依子
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	保育の質を向上 させる実践的ア プローチ	16名	高崎健康福祉大学 教授 岡本 拓子
2月20日 前橋市	救急救命・応急 手当講習	10名	前橋市消防局西消防署利根分署 消防司令補 井上 雅一 消防副士長 佐藤 舜 消防士 金井 啓太

(g) 再就職希望者研修

期日・場所等	分野名	受講者	講師
2月17日 (web開催)	群馬県における 制度説明	3名	群馬県生活子ども部こども・子育て支援課 保育係主事 五十嵐 達哉
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	乳児期の発達と 保育内容	2名	元関東短期大学 教授 森 静子
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	幼児教育の基本 と環境	3名	前前橋市教育委員会 教育長 塩崎 政江

期日・場所等	分野名	受講者	講師
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	発達障害の正しい理解と対応	5名	共愛学園前橋国際大学短期大学部生活学科 教授 上原 篤彦
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	保護者支援の機能と相談支援技術	3名	立正大学 教授 岡本 依子
2月18日 ～3月18日 (動画配信)	保育の質を向上させる実践的アプローチ	2名	高崎健康福祉大学 教授 岡本 拓子
2月20日 前橋市	救急救命・応急手当講習	3名	前橋市消防局西消防署利根分署 消防司令補 井上 雅一 消防副士長 佐藤 舜 消防士 金井 啓太

(オ) 介護支援専門員の資質向上研修

介護支援専門員に対して専門的知識及び技術の向上を図るため、一体的に研修を実施した。

(a) 主任介護支援専門員更新研修

実施期間・受講者等	内容
4月11日 ～6月19日 (動画&web 開催) 受講者 204名 修了者 200名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

(b) 主任介護支援専門員研修

実施期間・受講者等	内容
5月16日 ～7月25日 (動画&web 開催)	・主任介護支援専門員の役割と視点 ・対人援助者監督指導(スーパービジョン) ・地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)

実施期間・受講者等	内容
受講者 112 名 修了者 110 名	・地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ・終末期ケア (EOL (エンドオブライフ) ケア) を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解 ・運営管理におけるリスクマネジメント ・人材育成及び業務管理 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

(c) 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ

実施期間・受講者等	内容
6 月 13 日 ～8 月 26 日 (動画&web 開催) 受講者 153 名 修了者 151 名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

(d) 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ

実施期間・受講者等	内容
7 月 11 日 ～2 月 25 日 (動画&web 開催) 受講者 523 名 修了者 505 名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例

実施期間・受講者等	内容
	・ 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

(e) 介護支援専門員実務研修

実施期間・受講者等	内容
11 月 25 日 ～3 月 25 日 高崎市 (動画&web&集合) ・ 受講者 246 名 ・ 修了者 214 名	・ 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・ 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・ 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 ・ 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 ・ ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・ 高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群)の留意点の理解 ・ 自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・ ケアマネジメントのプロセス ・ 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 ・ 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 ・ 受付及び相談並びに契約 ・ アセスメント及びニーズ把握の方法 ・ 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ サービス担当者会議の意義及び進め方 ・ モニタリング及び評価 ・ 実習オリエンテーション ・ 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・ 地域共生社会の実現に向けた他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント ・ 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・ 脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・ 看取りに関する事例 ・ 心疾患のある方のケアマネジメント ・ 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・ 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・ 実習振り返り ・ アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 ・ 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

(f) 介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修

実施期間・受講者等	内容
12月16日 ～2月24日 (動画&web開催) 未経験者更新研修 ・受講者 70名 ・修了者 63名 再研修 ・受講者 100名 ・修了者 92名	・介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 ・生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 ・ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群)の留意点の理解 ・自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・地域共生社会の実現に向けた他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取りに関する事例 ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

(g) 介護支援専門員研修向上委員会

期日・場所等	内容
3月24日 (web開催) 参加者 6名	(1) 研修向上委員会設置要綱の改正について (2) 令和7年度介護支援専門員研修・実施状況等報告について (3) オンライン研修の実施状況等にかかる全国調査の実施について (4) 教育訓練給付金の講座指定申請について (5) 新たな研修管理システムの開発中止について

②介護支援専門員実務研修受講試験の実施

(ア) 介護支援専門員実務研修受講試験

群馬県指定試験実施機関として介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

受験者及び合格者数等状況

期日・場所	受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
10月12日 前橋市・伊勢崎市	942名	843名	233名	27.64%

基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化

推進項目 1 災害に備えた体制の整備

(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化

福祉避難所を含む災害時に福祉施設が果たす役割等が有効に機能するように、平時からの関係者間の連携体制の強化を図り、要配慮者の命を守る仕組みづくりを推進した。

①介護施設等における防災リーダー養成等支援事業

(ア) B C P策定支援アドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
1 月 28 日 前橋市 参加者 15 名	講義Ⅰ「福祉防災アドバイザーについて」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義Ⅱ「B C P策定のポイント①【基礎編】」 講師 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 講義Ⅲ「B C P策定のポイント②【風水害編】」 講師 障害者支援施設かんなの里 高橋 卓也 講義Ⅳ「B C P策定のポイント③【土砂災害編】」 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和
2 月 18 日 前橋市 参加者 13 名	講義Ⅴ「B C P策定のポイント②【地震－高齢者編】」 講師 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 講義Ⅵ「災害備蓄及び非常電源等の対策について」 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和 講義Ⅶ「B C P策定のポイント⑤【受援計画】」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 講義Ⅷ「B C P策定のポイント③【地震－障害者（入所）編】」 講師 障害者支援施設薫英荘 荘長 大林 喬充 講義Ⅸ「B C P策定のポイント④【地震－障害者（通所）編】」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 講義Ⅹ「事業継続マネジメント（BCM）について」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

(イ) 事業継続マネジメントアドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
9 月 29 日 前橋市 参加者 15 名	講義Ⅰ「事業継続マネジメント（BCM）の取り組みについて」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義Ⅱ「事業継続マネジメントの実践①～図上訓練編」 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和

期日・場所等	内 容
	講義Ⅲ「事業継続マネジメントの実践①～シミュレーション編」 講師 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 演習「図上訓練を組み立てる」 講師 障害者支援施設 誠光荘 支援部長 藤井 友和 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也

(ウ) 福祉避難所運営アドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
3月27日 前橋市 (動画配信) 対象者 25名	講義Ⅰ「福祉避難所運営にかかる費用と介護報酬の関係について」 講師 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 講義Ⅱ「福祉避難所運営にかかる費用と障害福祉サービスの関係について」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 講義Ⅲ「公共施設等での福祉避難所運営のポイント福祉避難所について」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也

②施設間連携による相互応援体制の強化

(ア) 災害福祉支援ネットワーク全体検討会

期日・場所等	内 容
8月12日 前橋市 参加者 34名	協議事項 (1) 令和7年度群馬県災害福祉支援ネットワークの取り組み (2) 令和7年度相互応援協定運用に関する図上訓練 (3) 令和7年度災害派遣福祉チーム関係研修 (4) 全国経営協 災害福祉支援体制構築助成事業の活用
3月5日 前橋市 参加者 36名	報告事項 (1) 災害福祉支援ネットワークの取り組み状況について (2) 施設間連携部会の活動について (3) 福祉専門職支援部会の活動について 話題提供 (1) 災害時保健医療福祉活動支援システム (D24H) について (2) 新たな防災気象情報について 協議事項 (1) 今後の進め方について (2) その他

(イ) 施設間連携部会等

期日・場所等	内 容
8 月 12 日 前橋市 参加者 11 名	報告・検討 ・令和 7 年度相互応援協定運用に関する情報伝達訓練について
9 月 5 日 (web 開催) 参加者 10 名	事務局・担当国会議 ・令和 7 年度相互応援協定運用に関する情報伝達訓練について
2 月 26 日 (web 開催) 参加者 9 名	事務局・担当国会議 ・令和 7 年度訓練の振り返りについて
3 月 5 日 前橋市 参加者 10 名	施設間連携部会 ・令和 7 年度訓練の振り返りについて ・令和 8 年度計画について

(ウ) 地域における連携体制の構築のための情報交換

期日・場所等	内 容
9 月 29 日 富岡市 参加者 30 名	社会福祉施設に対する訓練実施説明会 ・令和 7 年度訓練の実施について
2 月 9 日 富岡市 参加者 21 名	振り返り及び災害等に関する情報交換会 報告事項 ・情報伝達訓練の実施状況について 情報交換 ・訓練実施にあたっての感想や課題等について

③施設の事業継続計画（BCP）の策定支援

期日・場所等	内 容
5 月 26 日 前橋市 参加者 85 名	群馬県保育協議会への協力 ・「保育所・子ども園に求められる業務継続計画（BCP）のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
7 月 15 日 前橋市 参加者 75 名	群馬県老人福祉施設協議会への協力 ・「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
10 月 29 日 桐生市 参加者 36 名	桐生みやま園への協力 ・「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
1 月 23 日 前橋市 参加者 68 名	群馬県老人福祉施設協議会への協力 ・「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

期日・場所等	内 容
1 月 27 日 前橋市 参加者 22 名	群馬県相談支援専門員協会への協力 ・福祉施設における「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
2 月 13 日 富岡市 参加者 28 名	群馬県介護支援専門員協会富岡・甘楽支部への協力 障害者支援施設かんなの里BCP策定研修 ・「事業継続マネジメント（BCM）のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

④施設の事業継続マネジメント（BCM）の支援

期日・場所等	内 容
6 月 2 日 伊勢崎市 参加者 25 名	社会福祉法人植竹会 特別養護老人ホームゆたか ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 助言者 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 特別養護老人ホームかまくら 事務部長 浅見 直
10 月 14 日 富岡市 参加者 30 名	社会福祉法人民善会 特別養護老人ホーム妙義、妙義するすみ ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 助言者 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 特別養護老人ホームかまくら 事務部長 浅見 直 特別養護老人ホーム永光荘 管理部長 滝田 直衛
11 月 25 日 藤岡市 参加者 45 名	社会福祉法人かんな会 障害者支援施設かんなの里 ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 助言者 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和 障害者支援施設ルンビニー苑 管理者 深津 了寛
2 月 3 日 邑楽町 参加者 20 名	社会福祉法人邑友会 特別養護老人ホームやまつつじ ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 助言者 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

⑤福祉避難所の受入体制と機能強化

期日・場所等	内 容
10月30日 (web 開催) 参加者 35 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）開催にかかる検討会①の開催 ・概要説明「福祉避難所モデル訓練の取り組みについて」 ・実践報告「福祉避難所モデル訓練の実践から」 報告者 障害者支援施設ルンビニー苑 管理者 深津 了寛
12月3日 (web 開催) 参加者 29 名	福祉避難所モデル訓練（藤岡地域）開催にかかる検討会①の開催 ・概要説明「福祉避難所モデル訓練の取り組みについて」 ・実践報告「福祉避難所モデル訓練の実践から」 報告者 特別養護老人ホームかまくら 事務部長 浅見 直
12月16日 (web 開催) 参加者 32 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）開催にかかる検討会②の開催 ・災害想定について ・訓練フローについて ・様式について
1月13日 (web 開催) 参加者 31 名	福祉避難所モデル訓練（藤岡地域）開催にかかる検討会②の開催 ・災害想定について ・訓練フローについて ・様式について
1月14日 前橋市 参加者 50 名	前橋市福祉避難所開設・運営訓練の開催 ・施設内受入スペースの整備 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入調整訓練
1月20日 安中市 参加者 96 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）の開催 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉施設の被害状況調査 ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・食事提供訓練
2月9日 藤岡市 参加者 44 名	福祉避難所モデル訓練（藤岡地域）の開催 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉施設の被害状況調査 ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・食事提供訓練
3月11日 (web 開催) 参加者 14 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）振り返り会議 ・訓練実施報告 ・行政・社協・保健福祉事務所等関係者からの気づきや課題 ・アドバイザーからの助言
3月13日 (web 開催) 参加者 19 名	福祉避難所モデル訓練（藤岡地域）振り返り会議 ・訓練実施報告 ・行政・社協・保健福祉事務所等関係者からの気づきや課題 ・アドバイザーからの助言
3月23日 (web 開催) 参加者 8 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）総括会議 ・行政・社協・保健福祉事務所等関係者からの気づきや課題 ・アドバイザーからの助言

（２）災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAＴ）の機能強化

災害時に備え、平時からの訓練や研修、連絡会議等を通じて、行政・保健・医療と福祉の連携体制の整備を図った。

①個別避難計画策定セミナー

（ア）個別避難計画作成研修（作成促進編）

期日・場所等	内 容
8 月 19 日 前橋市 参加者 34 名	講演「実効性ある個別避難計画を目指して」 講師 一社）福祉防災コミュニティ協会 理事 湯井 恵美子

（イ）個別避難計画作成研修会（難病患者・医ケア児編）

期日・場所等	内 容
10 月 29 日 前橋市 参加者 72 名	説明「避難行動要支援者名簿の作成に係る難病患者等の情報提供について」 説明者 群馬県地域福祉課 主事 鈴木 優太 群馬県感染症・疾病対策課 技師 小池 寛菜 群馬県児童福祉課 副主幹 五十嵐 友喜 講演「医療的ケア児のご家族による災害に対する声を聴く」 講師 笑って子育てロリポップ 代表 石川 京子 講演「熊本県の事例から見る医療的ケア児の災害時の状況と備え」 講師 熊本大学病院 小児在宅医療支援センター 熊本県医療的ケア児支援センター 副センター長 小篠 史郎 講演「熊本県の事例から見る医療的ケア児の災害時の訓練について」 講師 熊本大学病院 小児在宅医療支援センター 熊本県医療的ケア児支援センター 統括医療的ケア児等コーディネーター 宅島 恵子

（ウ）個別避難計画と連動した防災イベント

期日・場所等	内 容
11 月 30 日 高崎市	医療的ケア児等とご家族のための防災わくわく体験会 ・展示「ハイブリッド車の非常用電源活用について」 協力 群馬トヨタグループ（株）/群馬日産（株） ・展示「段ボールベッド体験」 担当 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター ・講話「日常での災害対策について」 協力 渋川医療センター 療育指導室 室長 山岸 利紘 「緊急時の医療機器対応方法について」 小児医療センター 技術部臨床工学課 下田 隼人 「薬、経管栄養剤の備蓄について」 YHO 調剤薬局グループ 学術部長 黒沢 和夫

期日・場所等	内 容
	「個別避難計画について」 群馬県地域福祉課 鈴木 優太 ・展示「非常食コーナー」 - 協力 ホリカフーズ（株） ・展示「災害パスポート・チェックリスト作り」 - 協力 笑って子育てロリポップ

(エ) 個別避難計画チーム会議への参加

期日・場所等	内 容
12月4日 書面	個別避難計画チーム会議（第11回） ・県内市町村の個別避難計画作成状況 等

(オ) 個別避難計画関連研修への参加

期日・場所等	内 容
9月6日～9月7日 静岡県	医療的ケア児の災害時の備え ・防災シンポジウム ・防災食勉強会 ・座談会

(カ) 個別避難計画作成促進に向けた市町村伴走支援等の実施

期日・場所等	内 容
5月～3月 県内	・県職員への同行にて個別避難計画一部作成市町村を訪問。市町村が抱える課題を伺いながら助言を実施。 ・嬭恋村での居宅介護支援事業所と関係者による研修会 ・富岡地域自立支援協議会こども部会での災害対応研修講師協力 ・嬭恋村での民生委員児童委員を対象とした研修会講師協力

②避難所アセスメント・モニタリング研修会

(ア) 避難所アセスメント・モニタリング研修会の開催

期日・場所等	内 容
10月10日 前橋市 参加者 40名	避難所アセスメント・モニタリング研修会Ⅰの開催 講義「避難所におけるアセスメントとモニタリング」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義「群馬県における災害時保健医療福祉活動の実践」 講師 群馬県内各保健医療福祉活動チーム代表者 講義・演習「避難所におけるアセスメントとモニタリングと避難所の環境改善に向けた各機関の連携を進めるために」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 研究員 藤田 楓

期日・場所等	内 容
12月2日 前橋市 参加者 54 名	保健医療福祉活動チーム編の開催 講義「避難所アセスメントを進めるために保健医療福祉活動チームの果たす役割」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義・演習「避難所アセスメントを進めるために保健医療福祉活動チームに求められること」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 藤田 進太郎
12月16日 前橋市 参加者 31 名	避難所アセスメント・モニタリング研修会Ⅱの開催 講義Ⅰ「避難所におけるアセスメントとモニタリング」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義Ⅱ「群馬県における地域での取組実践について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 補佐 猪熊 栄 講義Ⅲ「安中保健福祉事務所の取組について」 講師 安中保健福祉事務所 危機管理専門官 河合 久代 講義Ⅳ「藤岡保健福祉事務所の取組について」 講師 富岡保健福祉事務所 危機管理専門官 高原 きよ美 講義・演習「避難所の環境改善に向けた県の保健福祉事務所と市町村の防災・医療・保健・福祉等の連携を進めるために」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学

③車中避難の普及・啓発等支援

(ア) 車中避難研修会の開催

期日・場所等	内 容
11月20日 前橋市 参加者 27 名	講義・ワーク「熊本地震や能登半島地震の事例から見る車中避難」 「車中避難実施場所の設営にかかる留意事項」 講師 Bosai Tech 株式会社 代表取締役社長 大塚 和典 講義・ワーク振り返り「車中避難実施場所の設営について」 講師 Bosai Tech 株式会社 代表取締役社長 大塚 和典 実車見学による説明 「ハイブリッド車による給電利活用について」 講師 群馬トヨタグループ株式会社経営企画部 五十嵐 佳之

④保健・医療・福祉の連携体制の整備

(ア) 保健所・保健福祉事務所と連携した避難所運営研修

期日・場所等	内 容
8 月 18 日 富岡市 参加者 45 名	富岡保健福祉事務所と共催 講義・演習「避難所運営ゲーム（HUG）風水害編」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義・演習「災害時保健医療福祉活動支援システム（D 2 4 H）入力 訓練」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学
9 月 18 日 高崎市 参加者 76 名	高崎市保健所と共催 研修「風水害時に避難所で起こりうる状況への対応を考える ～HUG（風水害編）を通して～」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海 はるな郷・生原ホーム事業所 管理者 関 芳典 ライフサポートのどか サービス管理責任者 原澤 大輔
10 月 7 日 安中市 参加者 52 名	安中保健福祉事務所と共催 演習「避難所運営ゲーム（HUG）（風水害編）」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海 はるな郷・生原ホーム事業所 管理者 関 芳典 ライフサポートのどか サービス管理責任者 原澤 大輔 特別養護老人ホームかぶらの里 宇佐美 里佳
10 月 9 日 太田市 参加者 30 名	太田保健福祉事務所と共催 演習「災害時対応研修～風水害 2 4」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海
10 月 17 日 館林市 参加者 41 名	館林保健福祉事務所と共催 講義・演習「避難所運営ゲームHUG（風水害バージョン）」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海 特別養護老人ホームやまつつじ 理学療法士 南川 基治 明和セントラル病院 ソーシャルワーカー 吉川 仁美 講義「避難所で生じる健康課題とアセスメント」 講師 館林保健福祉事務所 技師（医師） 井田 真悟

期日・場所等	内 容
12 月 15 日 中之条町 参加者 45 名	吾妻保健福祉事務所と共催 講義・演習「避難所運営ゲーム（HUG）風水害編」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海 群馬リハビリテーション病院 地域連携室長 小川 晋平 講義・演習「災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）入力 訓練」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学
1 月 16 日 安中市 参加者 18 名	安中保健福祉事務所へ協力 講義・演習「災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）入力 訓練」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
2 月 19 日 沼田市 参加者 32 名	利根沼田振興局と共催 講義・演習「避難所運営ゲームHUG（地震編）」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 主任 渡辺 匠海 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 沼田病院 ソーシャルワーカー 小淵 匡

（イ）保健医療福祉調整地域本部訓練への協力

期日・場所等	内 容
1 月 20 日 安中市 参加者 25 名	（1）保健医療福祉活動チームの受付訓練 （2）避難所情報の分析訓練 （3）被災した社会福祉施設の支援調整訓練 （4）調整本部会議訓練

⑤チーム員の資質向上に向けた取組強化

（ア）分野別研究会（高齢者支援）

期日・場所等	内 容
9 月 8 日 (web 開催) 参加者 9 名	（1）研究会メンバー募集等の状況報告 （2）座長の選任について （3）今後の研究会の取り組みについて （4）『HAWAII LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について （5）令和 7 年度車中避難研修会について
11 月 26 日 (web 開催) 参加者 8 名	（1）HAWAII LOVE TOWN in ぐんまの報告 （2）令和 7 年度車中避難研修会の報告 （3）平時の活動実践に向けて

(イ) 分野別研究会（障害者支援）

期日・場所等	内 容
8 月 25 日 (web 開催) 参加者 10 名	(1) 『障害のある人を支援する防災研修会』への協力について (2) 『HAWAI LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について (3) 今後の研究会の取り組みについて (4) 医療的ケア児（者）のための防災キャンプ in 静岡について (5) ぼうさいこくたい 2025 について
10 月 30 日 (web 開催) 参加者 10 名	(1) 医療的ケア児（者）のための防災キャンプ in 静岡の報告 (2) 『HAWAI LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について (3) 今後の研究会の取り組みについて

(ウ) 分野別研究会（子ども・女性支援）

期日・場所等	内 容
10 月 30 日 (web 開催) 参加者 5 名	(1) 医療的ケア児（者）のための防災キャンプ in 静岡の報告 (2) 『HAWAI LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について (3) 今後の研究会の取り組みについて
3 月 18 日 (web 開催) 参加者 5 名	(1) 「赤ちゃんのための防災講座」 話題提供者：株式会社明治 関東支社 群馬オフィス 営業一課 栄養士 田口 渚 (2) 群馬県避難所運営ガイドライン（女性・子ども編）との照らし合わせについて (3) 今後の進め方について

(エ) 分野別研究会（機能強化）

期日・場所等	内 容
2 月 17 日 前橋市 参加者 7 名	地域連携支援に関する検討委員会（第 1 回）の開催 (1) 話題提供「避難所を退所した先の生活支援について」 助言者 日本社会事業大学専門職大学院 講師 北川 進 (2) 意見交換「避難所支援にかかるフェーズ変化と求められる地域との連携について」
9 月 30 日 (web 開催) 参加者 10 名	DWAT リエゾン機能に関する検討委員会（第 1 回）の開催 (1) 統括 DHEAT 研修について (2) 災害福祉研究会での取り組みについて (3) JRAT 活動における各種調整の仕組みについて 話題提供者：群馬県理学療法士協会 公益事業局 災害対策部長 南川 基治 (4) 今年度の委員会の取り組みについて
1 月 6 日 (web 開催) 参加者 9 名	DWAT リエゾン機能に関する検討委員会（第 2 回）の開催 (1) DHEAT 基礎研修について (2) 災害医療コーディネート研修について (3) 安中保健医療福祉調整本部訓練について (4) 今後の取り組みについて

期日・場所等	内 容
1 月 20 日 安中市 参加者 5 名	安中地域保健医療福祉調整本部訓練への協力 (1) 保健医療福祉活動チームの受付訓練 (2) 避難所情報の分析訓練 (3) 被災した社会福祉施設の支援調整訓練 (4) 調整本部会議訓練
2 月 10 日 (web 開催) 参加者 5 名	DWA T チーム編成訓練の開催 (1) エントリー者のチーム編成及び配置について (2) 再募集等の対応について (3) その他
3 月 4 日 (web 開催) 参加者 7 名	DWA T リエゾン機能に関する検討委員会 (第 3 回) の開催 (1) 安中保健医療福祉調整地域本部訓練について (2) DWAT 派遣にかかる編成会議訓練について (3) DWAT リエゾン機能を担う人材の育成 (研修・訓練) について (4) 今後の取り組みについて

(オ) 群馬県災害派遣福祉チーム員登録研修

期日・場所等	内 容
8 月 26 日 前橋市 参加者 16 名	研修Ⅰ「群馬県災害福祉支援ネットワークの機能と役割について」 講師 群馬県健康福祉部地域福祉課 係長 近藤 愛子 研修Ⅱ「災害時の保健医療活動と福祉活動の連携について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 副主幹 石井 虹太 研修Ⅲ「避難所における公衆衛生活動について」 講師 群馬県健康福祉部医務課 主任 木藤 陽香 研修Ⅳ「避難所・避難生活を支えるために」 講師 ピースポート災害支援センター 辛嶋 友香里 研修Ⅴ「災害時の要配慮者について」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴

(カ) 群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修

期日・場所等	内 容
7 月 22 日 前橋市 参加者 25 名	研修Ⅰ「群馬県災害福祉支援ネットワークの仕組みと 災害派遣福祉チームの役割について」 講師 群馬県健康福祉部地域福祉課 主事 堀川 さゆみ 研修Ⅱ「避難所・避難生活を支えるために」 講師 ピースポート災害支援センター 辛嶋 友香里 研修Ⅲ「災害時要配慮者の視点で避難所運営を考える」 講師 ぐんまDWA T研修・企画に関する検討会委員
8 月 5 日 前橋市 参加者 25 名	研修Ⅳ「災害時の要配慮者支援の実際について①」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 研修Ⅴ「災害時の要配慮者支援の実際について②」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 研修Ⅵ「運営支援者に求められるもの」 講師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治

(キ) 千葉県災害派遣福祉チーム受援訓練への協力

期日・場所等	内 容
2月4日 ～2月10日 前橋市 参加者7名	(1) 千葉県災害派遣福祉チーム事務局との連絡調整訓練 (2) チーム員の安否確認訓練 (3) チーム員の募集訓練 (4) チーム編成会議

⑥社協災害ボランティアセンターとの連携強化

(ア) 保健医療福祉調整地域本部訓練

期日・場所等	内 容
1月20日 前橋市 参加者96名	(1) 保健医療福祉調整本部会議訓練 (2) 保健医療福祉活動チームの連携訓練 (3) 福祉避難所ニーズへの対応訓練 (4) 在宅福祉支援活動の展開調整訓練

推進項目２ 災害ボランティア活動への支援

(１) 多様な災害ボランティア関係団体との連携

災害ボランティアセンターの運営をはじめとする災害時の対応は、ボランティアや様々な関係機関・団体等の連携・協働により進められるため、災害時に備え、平時からの連携体制を推進した。

①多様な関係団体とのネットワーク強化

(ア) 関係団体の研修会協力

期日・場所	内 容
1 月 23 日 安中市 参加者 20 名	安中市ボランティア連絡協議会における災害についての研修会 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海
2 月 28 日 前橋市 参加者 54 名	日本赤十字社群馬県支部における防災ボランティア・4 奉仕団合同研修会 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海

(イ) 関係団体・企業との協定の推進

期日・場所等	内 容
4 月 21 日 前橋市	群馬弁護士会との大規模災害時における被災者支援活動等の協力に関する協定を締結
5 月 20 日 高崎市	大塚製薬・大塚製薬工場との協定締結に向けた協議
9 月 11 日 桐生市・みどり市	桐生青年会議所との災害時における協力体制に関する協定締結への協力
7 月 16 日 8 月 28 日 10 月 27 日 前橋市	群馬トヨタグループ(株)と包括連携協定に向けた協議
3 月 23 日 前橋市	日本赤十字社群馬県支部との災害対応における相互協力に関する協定の締結

(ウ) 関係団体・企業との連携会議、研修会、訓練への参加

期日・場所等	内 容
8 月 25 日 前橋市	災害時救援ボランティア連絡会議への参加
9 月 4 日 前橋市	群馬弁護士会等による災害時における被災者等相談に関する協定に係る研修会への参加
9 月 23 日 前橋市	日本赤十字社群馬県支部による災害救護訓練への参加
9 月 28 日 富岡市	富岡市による総合防災訓練への参加
10 月 19 日 千代田町	千代田町における防災訓練への参加

(2) 災害ボランティアセンターの運営支援

災害ボランティアセンターを取り巻く環境が変化する中、災害のフェーズ（平時、発災時、復旧期、復興期）や関係機関・団体等と連携を意識しながら総合的な対応ができるよう、研修や会議等を通し、災害支援者の資質向上や体制整備を図った。

①市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援

(ア) 協働型災害ボランティアセンター運営研修会

期日・場所等	内 容
7 月 30 日 前橋市 参加者 34 名	講義「協働型災害 VC の基礎知識について」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海 講義「共同募金会における災害等準備金について」 講師 群馬県共同募金会 課長 星野 久子 講義「被災者支援にかかる群馬弁護士会の取組/発災時における社協との連携について」 講師 群馬弁護士会所属 館山法律事務所 代表 館山 史明

(イ) 水害時の家屋保全の重要性を知る研修（県と共催）

期日・場所等	内 容
12 月 19 日 前橋市 参加者 47 名	講義「家屋保全、清掃の必要性・現地調査のポイント・資機材の選定などについて」 講師 風組関東 代表 小林 直樹 石川 紗織

(ウ) 災害ボランティアセンターマネジメント研修

期日・場所等	内 容
2 月 16 日 前橋市 参加者 21 名	講義「災害 VC のあり方」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海 講義「災害 VC 運営マネジメントについて①」 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 演習「災害 VC 設置判断について」 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 講義「災害 VC 運営マネジメントについて②」 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 講義「NPO 等との連携」 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 振り返り

(ウ) 市町村社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置・運営訓練への協力・参加

期日・場所等	内 容
7 月 18 日 安中市	安中市社会福祉協議会職員勉強会（災害ボランティアセンターについて）への協力
7 月 24 日 太田市	太田市社会福祉協議会職員研修（災害ボランティアセンターについて）への協力
11 月 8 日 みどり市	みどり市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への参加
11 月 15 日 館林市	館林市社会福祉協議会災害ボランティア養成講座への参加
12 月 13 日 千代田町	邑楽郡 3 町合同災害ボランティアセンター訓練への協力
12 月 22 日 太田市	太田市社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営マニュアル更新にかかる協力
2 月 22 日 明和町	明和町・板倉町社会福祉協議会合同災害ボランティアセンター訓練への協力
2 月 22 日 沼田市	沼田市社会福祉協議会災害ボランティア養成講習会への協力
3 月 2 日 前橋市	前橋市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への参加
3 月 7 日 太田市	太田市社会福祉協議会災害ボランティア入門講座への協力
3 月 8 日 沼田市	利根沼田地区合同災害ボランティアセンター訓練への協力
3 月 11 日 桐生市	桐生市社会福祉協議会災害ボランティア養成講座への協力
3 月 12 日 中之条町	吾妻郡内社協災害時支援協定にかかる研修会への協力

(エ) 市町村社会福祉協議会に対する協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修助成

助成額等	内 容
2 社協に助成 100,000 円×2 社協	協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修にかかる経費助成 ・沼田市社会福祉協議会 ・明和町社会福祉協議会

②災害時における市町村社協の体制整備支援

(ア) 社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営・資機材プラットフォーム会議

期日・場所等	内 容
5 月 14 日 昭和村 参加者 12 名	利根沼田地区① (1) プラットフォームにおける訓練について (2) その他

期日・場所等	内 容
7月7日 渋川市 参加者6名	中部地区① (1) プラットフォームにおける訓練について (2) その他
7月9日 甘楽町 参加者9名	西部地区① (1) プラットフォームにおける訓練について (2) その他
9月8日 渋川市 参加者11名	中部地区② (1) 情報共有会議訓練（オンライン） (2) 資機材運搬訓練
11月11日 甘楽町 参加者12名	西部地区② (1) 情報共有会議訓練（オンライン） (2) 資機材運搬訓練
12月10日 長野原町 参加者14名	吾妻地区 (1) 情報共有会議訓練（オンライン） (2) 資機材運搬訓練
1月26日 桐生市 参加者13名	東部地区 (1) 情報共有会議訓練（オンライン） (2) 資機材運搬訓練
3月6日 3月8日 沼田市 参加者10名	利根沼田地区 (1) 情報共有会議訓練（オンライン） (2) 資機材運搬訓練

③市町村社協の事業継続計画（BCP）策定の推進

（ア）市町村社会福祉協議会事業継続計画（BCP）策定研修会

期日・場所等	内 容
6月3日 オンライン 参加者30名	講義 事業継続計画（BCP）に基づく既存事業と災害VCの“共存”について 講師 日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科 (専門職大学院) 講師 北川 進

（イ）事業継続計画（BCP）推進事業への助成

災害時における、事業継続と地域の要配慮屋の安否確認、地域活動等の優先順位を判断するために必要となる事業継続計画策定のために1か所に対して助成を行った。

助成額等	内 容
1か所 194,211円	邑楽町社協 BCP訓練等経費

④避難行動要支援者に関する支援

（ア）市町村社協の避難行動要支援者見守り推進事業助成

行政や関係者と連携し、災害時避難行動要支援者に関する支援と情報の共有を行い、その情報を基に平常時における見守りや顔の見える地域づくりを推進するために3か所に対して助成を行った。

助成額等	内 容
3 か所 800,000 円	沼田市社協 打合せ会議、講師謝礼等経費 榛東村社協 講師謝金、備品購入等経費 上野村社協 対象者への訪問経費、諸謝金等経費

⑤災害ボランティア活動助成事業

(ア) 県災害ボランティア活動助成事業

「令和6年能登半島地震」と「令和7年台風15号等による災害」による災害ボランティア活動に対し、本助成事業を実施した。

【申請団体】

申請	内 容
2 か所 310,998 円	群馬医療福祉大学 (申請額) 163,000 円 (助成額) 110,998 円 藤岡災害ボランティアサークル (申請額) 200,000 円 (助成額) 200,000 円

推進項目３ 感染症に対応した体制の整備

（１）感染症発生時の社会福祉施設への支援

社会福祉施設における感染症対策の強化を図るために、平時からの標準予防策の徹底や万一来た対応方法等を学び、防疫力を高めた施設運営を推進した。

①平時からの防疫活動の強化

（ア）福祉施設等に対する感染症対応訓練

期日・場所等	内 容
1 月 22 日 桐生市 参加者 24 名	桐生みやま園における感染症BCP対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
2 月 19 日 桐生市 参加者 16 名	桐生みやま園における感染症BCP対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県福祉防災アドバイザー 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和

②施設の応援職員の派遣体制の充実・強化

（ア）継続した専門研修

期日・場所等	内 容
1 月 22 日 桐生市 参加者 24 名	桐生みやま園における感染症BCP研修の開催 動画視聴「感染成立の３要因とその対応」 講義「感染症BCP策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
2 月 19 日 桐生市 参加者 16 名	桐生みやま園における感染症BCP研修の開催 動画視聴「感染成立の３要因とその対応」 講義「感染症BCP策定のポイント」 講師 群馬県福祉防災アドバイザー 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和

（２）感染症予防に向けた取組の強化

感染症予防対策として、平時からの事務局のワークスタイルを変更していくとともに、災害時の支援体制についても感染症対策を踏まえた体制整備を図った。

①感染症対策を含む多様な変化に対応したワークスタイルの導入・活用

感染症対策BCP（事業継続計画）を周知するとともに、職場内の対策として、在宅ワークを含む勤務体制を継続実施し、職員のテレワーク推進を図った。

②感染症対策を踏まえた避難所運営の体制整備

（ア）ぐんまDWA Tに対する感染症対応を意識した福祉避難所運営訓練

期日・場所等	内 容
1 月 20 日 安中市 参加者 96 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）の開催 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉施設の被害状況調査 ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・食事提供訓練

期日・場所等	内 容
2月9日 藤岡市 参加者 44 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）の開催 ・ 要配慮者情報のスクリーニング ・ 福祉施設の被害状況調査 ・ 福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・ 食事提供訓練

（イ）行政・医療・保健分野と一体的に進める訓練

期日・場所等	内 容
1月20日 安中市 参加者 96 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）の開催 ・ 要配慮者情報のスクリーニング ・ 福祉施設の被害状況調査 ・ 福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・ 食事提供訓練
2月9日 藤岡市 参加者 44 名	福祉避難所モデル訓練（安中地域）の開催 ・ 要配慮者情報のスクリーニング ・ 福祉施設の被害状況調査 ・ 福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・ 食事提供訓練

③感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの体制整備

（ア）感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

千代田町・大泉町・邑楽町の3町合同の災害ボランティアセンター設置・運営訓練（12月13日）並びに利根沼田地区合同の災害ボランティアセンター設置・運営訓練（3月8日）の中で、ボランティアのマッチング待機スペースの座席間隔を空ける等、感染症対策を考慮した訓練を実施した。

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

推進項目 1 組織体制の強化

(1) 人材育成の強化

県社協職員としての専門性や資質の向上に向けた取組環境を整備するとともに、人事評価制度の運用を行った。また、社会福祉士資格取得を希望する学生の実習を受け入れた。

①職員研修の整備・充実

(ア) 資質向上研修の実施

期日・場所等	内 容
4月3日 4月4日 4月8日 4月23日 前橋市 (集合開催) 参加者2名	令和7年度群馬県社会福祉協議会 新任職員研修 ・県の福祉施策について ・文書事務について ・求められる職員像について(人事評価制度) ・法人運営について ・経理規程、会計処理、旅費規程について ・就業規則、給与規程、福利厚生について ・各課の概要について ・県派遣報告

(イ) 群馬県福祉マンパワーセンター主催研修派遣

期日・場所等	内 容
7月～8月 2日間 前橋市 (集合開催) 参加者1名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」 ・福祉サービスの特性と専門職としての学び ・キャリアパスの構造と新任職員に求められる能力 ・福祉専門職に求められるコミュニケーション能力
5月～8月 2日間 前橋市 (集合&web 開催) 参加者3名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」 ・福祉サービスの特性と専門職としての学び ・キャリアパスの構造と中堅職員に求められる能力 ・福祉専門職に求められるコミュニケーション能力

(ウ) 全国社会福祉協議会主催研修派遣

期日・場所等	内 容
9月 3日間 神奈川県 (集合開催) 参加者3名	「社会福祉法人会計実務講座(初級コース)」 ・社会福祉法人会計の仕訳 ・決算書の構造 ・仕訳から決算書作成までのプロセス ・社会福祉法人会計基準に基づく日常の取引の会計処理
10月26日～28日 神奈川県 (集合開催) 参加者4名	「都道府県・指定都市社協新任職員研修会」 ・仕事が楽しくなるコミュニケーション ・どんどん仕事がうまくいく仕事術 ・自分自身をコントロール ・ありたいわたし・なりたいわたし ・市町村社協って何してる？ ・災害支援って何するの？ ・新任職員のみなさまへ向けて

(エ) その他研修派遣

期日・場所等	内 容
2月4日 参加者2名	「上州雪かき道場2025」 (片品村社会福祉協議会主催)

(オ) eラーニング利用職員研修

期日・場所等	内 容
9月 (web開催) 参加者81名	個人情報保護研修 ・個人情報保護の最新の動向 ・個人情報の適切な取扱い
9月 (web開催) 参加者81名	情報セキュリティ研修 ・情報セキュリティの最新の動向 ・情報セキュリティを守るための適切な行動

(カ) 社会福祉士実習指導者講習会への職員派遣

期日・場所等	内 容
12月13～14日 前橋市 (集合開催) 参加者2名	・実習指導概論 ・実習マネジメント論 ・実習プログラミング論 ・実習スーパービジョン論

②ソーシャルワーク（社会福祉士）実習の受入環境整備

(ア) 社会福祉士の資格取得を希望する学生の実習受入の実施

高崎健康福祉大学社会福祉学科の受入 2名 8月4日～9月19日
東京福祉大学社会福祉学科の受入 2名 2月24日～3月5日

③総合的な人事評価システムの運用

目標管理、能力評価について、群馬県の仕組みを準用した人事評価制度を運用した。
人事評価システムを導入し、効率的に人事評価を行った。

(2) 働き方改革の推進

働き方改革の着実な実行に向けて、職員が働きやすい職場環境を整備するとともに、事務のデジタル化の促進に向けた取組を進めた。

①テレワーク環境の整備・推進

多様な働き方の実現、ワークライフバランスの充実観点からテレワークを推進した。
テレワーク実施：年16.5回

②職場環境の整備

事務所内のフリーアドレス化を行い、職員間や部署間のコミュニケーションの活性化を図るとともに更なるペーパーレス化を進め、多様で柔軟な働き方ができる環境整備を進めた。

③年次有給休暇取得

定期的に有給休暇の取得状況を確認し、積極的な取得への呼びかけを行った。

平均年次有給休暇取得率：42.8%

④産業医・衛生委員会の機能強化と充実

業務遂行に関連して発生する労働災害および健康障害を防止するとともに、職員の衛生管理と健康の保持増進を図るため、衛生委員会の開催や産業医による巡回指導を行った。

開催項目	実施回数	備考
衛生委員会	12回	
産業医による巡視・個別相談	15回	
職員向け研修	6回	動画研修4回 集合研修2回
ストレスチェック	1回	職員回答率100%

(3) 情報発信の強化

県民や関係団体に向けて、本県の地域福祉活動等の情報提供を行うとともに、広報媒体を増やし情報発信の強化を図った。

①ホームページの充実とSNSの活用

ホームページを随時更新し各種情報提供を行うとともに、FacebookとInstagramを新たに開設し広く情報発信を行った。

バナー広告掲載：5企業・団体

②機関誌 福祉ぐんまの定期発行

社会福祉施設、市町村社協、民生委員・児童委員等本会会員向けに、本会事業や社会福祉に関する各種情報を提供した。

発行回数：年4回

発行実績：10,000部×4回

推進項目２ 経営基盤の強化

（１）財源基盤の強化と既存事業の見直し

安定した法人運営を行うための環境整備を進めるとともに、自主財源の確保を強化していくための取組を進めた。

①自主財源の確保

- （ア）ボランティア保険広告掲載
- （イ）書籍販売斡旋
- （ウ）ホームページへのバナー広告掲載企業募集
- （エ）封筒広告掲載企業募集

②会員拡大に向けた取組

- （ア）特別賛助会員の呼び掛け

取引業者に対して特別賛助会員入会案内を行った。

特別賛助会員：17 企業・団体

（イ）会員限定研修の実施

（a）会計研修（基礎Ⅰ）

期日・場所等	内 容
11 月 25 日 (web 開催) 参加者 54 名	・簿記と会計の違い ・簿記の基礎（仕訳の理解） ・会計の基礎（貸借対照表と事業活動計算書の関係） 講師 ユニビスタシステムズ株式会社 代表取締役 増淵 良昭

（b）会計研修（基礎Ⅱ）

期日・場所等	内 容
12 月 2 日 12 月 9 日 12 月 16 日 (web 開催) 参加 58 名	・社会福祉法人会計の目的の理解 ・資金収支計算書と予算の関係性 ・簿記の仕訳 講師 ユニビスタシステムズ株式会社 代表取締役 増淵 良昭

（c）会計研修（期間損益計算と会計基準）

期日・場所等	内 容
1 月 4 日 1 月 21 日 1 月 28 日 2 月 4 日 (web 開催) 参加者 57 名	・期間損益計算の概念および発生主義と現金主義 ・固定資産と償却資産、リース資産、退職給付会計 ・寄附金の会計処理、国庫補助金等特別積立金の会計処理 ・退職給付会計 講師 ユニビスタシステムズ株式会社 代表取締役 増淵 良昭

③寄付金の受入

区 分	金 額	受入年月日
日本郵政グループ労働組合	2,179,186 円	6 月 18 日
群馬県農業協同組合中央会	184,300 円	10 月 23 日
生命保険ファイナンシャルアドバイザー 協会（JAIFA）群馬県協会	100,000 円	2 月 2 日
合 計	2,463,486 円	

（２）ガバナンスの強化

法人内の監査体制や内部統制の強化を進めた。

四半期ごとの会計専門家による外部検査を通じた監査体制の整備や内部研修等によりコンプライアンスの強化を図った。

①会計専門家による検査〔４回〕

４半期毎に会計専門家による執行状況の点検・検査を実施した。

期日・場所等	内 容
5 月 9 日 前橋市	令和 6 年度決算について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
8 月 7 日 前橋市	令和 7 年度第 1 四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
11 月 6 日 前橋市	令和 7 年度第 2 四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
2 月 9 日 前橋市	令和 7 年度第 3 四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人

②理事会・評議員会等

（ア）理事会

期日・場所等	内 容
第 1 回 6 月 5 日 前橋市	報告 第 1 号報告 会長及び常務理事の職務執行状況について （令和 6 年 1 2 月 1 日～令和 7 年 5 月 3 1 日） 第 2 号報告 令和 6 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 3 号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 6 年度決算について 第 3 号議案 理事及び監事候補者の選定（任期満了）について 第 4 号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任（任期満了）について 第 5 号議案 評議員候補者の選定（任期満了）について 第 6 号議案 令和 7 年度（第 1 回）評議員会の招集について

期日・場所等	内 容
第2回 6月26日 前橋市	議案 第1号議案 会長の選定について 第2号議案 副会長の選定について 第3号議案 常務理事の選定について 第4号議案 顧問の選任について
第3回 8月4日 前橋市	議案 第1号議案 理事候補者の選定（欠員補充）について 第2号議案 評議員候補者の選定（欠員補充）について 第3号議案 令和7年度（第2回）評議員会の招集について
第4回 9月19日 書面開催	議案 第1号議案 副会長の選定（欠員補充）について
第5回 12月17日 前橋市	報告 第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況について 第2号報告 令和7年度一般会計収支補正予算専決処分について 第3号報告 給与規程の一部改正専決処分について 第4号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第1号議案 令和7年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について 第2号議案 給与規程の一部改正について 第3号議案 第4期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について 第4号議案 令和7年度（第3回）評議員会の開催（決議の省略）について
第6回 3月4日 前橋市	報告 第1号報告 令和7年度一般会計収支補正予算専決処分について 第2号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 第3号報告 第4期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について 議案 第1号議案 組織規程の一部改正について 第2号議案 就業規則の一部改正について 第3号議案 給与規程の一部改正について 第4号議案 令和8年度事業計画について 第5号議案 令和8年度資金収支予算について 第6号議案 令和8年度役員賠償責任保険の契約について 第7号議案 評議員候補者（欠員補充）の選定について 第8号議案 令和7年度（第4回）評議員会の招集について

(イ) 評議員会

期日・場所等	内 容
第1回 6月25日 前橋市 (集合&web開催)	報告 第1号報告 評議員選任・解任委員会委員の選任（任期満了）について 議案 第1号議案 令和6年度事業報告について 第2号議案 令和6年度決算について 第3号議案 理事及び監事の選任について
第2回 8月28日 前橋市 (集合&web開催)	議案 第1号議案 理事の選任（欠員補充）について
第3回 1月16日 前橋市 (書面開催)	議案 第1号議案 令和7年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について 第2号議案 第4期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について
第4回 3月23日 前橋市 (集合&web開催)	報告 第1号報告 令和8年度役員等賠償責任保険の契約について 第2号報告 第4期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について 議案 第1号議案 令和8年度事業計画について 第2号議案 令和8年度資金収支予算について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

期日・場所等	内 容
第1回 6月5日 前橋市	(1) 評議員の選任（欠員補充）について (2) 評議員の選任（任期満了）について
第2回 8月4日 前橋市	(1) 評議員の選任（欠員補充）について
第2回 3月4日 前橋市	(1) 評議員の選任（欠員補充）について

(エ) 監事監査

期日・場所等	内 容
5月16日 前橋市	(1) 令和6年度事業報告について (2) 令和6年度決算について

③事業継続計画（BCP）に基づく訓練の実施

期日・場所等	内 容
3 月 15 日 前橋市	【訓練 1】職員安否確認・報告訓練 群馬県社会福祉協議会 B C P に基づき安否確認・報告訓練を実施
3 月 16 日 前橋市	【訓練 2】BCP に基づく事業継続に向けた勤務体制の構築検討 訓練 1 を踏まえ災害時優先業務の実施に向けた体制構築の検討

（３）関係団体との連携強化

地域共生社会の実現をはじめ様々な福祉課題に対応するため、関係団体との連携体制の構築を図った。

①予算要望・政策提言

期日・場所等	内 容
8 月 20 日 前橋市	予算要望会議の開催 ・要望団体代表による要望事項の説明及び予算要望活動実施の確認
9 月 11 日 前橋市	県への要望書の提出
10 月 6 日 前橋市	福祉・介護従事者の処遇改善及び物価高騰対策に関する要望書の提出
11 月 28 日 前橋市	物価高対策への継続的支援及び福祉従事者の処遇改善に関する要望書の提出

②社会福祉功労者表彰式の実施

期日・場所等	内 容
12 月 22 日 前橋市	群馬県知事表彰・群馬県ボランティア顕彰 代表受領:8 名・1 団体 群馬県社会福祉協議会長表彰 代表受領:8 名・2 団体 群馬県共同募金会表彰 代表受領:1 団体

（ア）群馬県社会福祉協議会長表彰 398 名・6 団体

表彰区分	被表彰者数
(1) 民生委員・児童委員	11 名
(2) 保護司	27 名
(3) 社会福祉法人、社会福祉施設等	345 名
(4-1) 優良地区社会福祉協議会	0 団体
(4-2) 特別優良地区社会福祉協議会	3 団体
(5) 模範自立障害者	3 名
(6) 里親	5 組 (10 名)
(7-1) 感謝 (個人)	2 名
(7-2) 感謝 (団体)	3 団体

③社会福祉関係団体の活動支援と連携強化

福祉バス「愛の募金号」の運行

(ア) 月別運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行日数	1	7	11	4	5	11	17	16	4	1	5	1	83

(イ) 県内、県外運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
県外	0	3	5	2	2	4	7	3	0	0	3	0	29
県内	1	4	6	2	3	7	10	13	4	1	2	1	54

(ウ) 利用者数及び移動困難者

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	20	263	264	100	128	352	495	466	130	20	167	40	2,445
うち移動困難者	0	18	66	17	2	59	140	18	52	12	20	23	427

(エ) 宿泊利用状況及び運行キロ数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
宿泊利用 回数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
運行 キロ数	195	945	1,517	411	389	1,646	2,536	2,103	328	17	428	130	10,645

④社会福祉振興基金助成事業

(ア) 事業概要

社会福祉振興基金は、県民からの寄附金等を基金に積み立て、その運用益をもって県内民間社会福祉事業に対し必要な援助を行うことにより、社会福祉活動の健全な発展を図り、以て県民福祉の増進に寄与することを目的に実施した。

(イ) 新規基金積立額と基金残高

項 目	金 額	備 考
(前年度 基金額)	1,188,931,060 円	
基金取崩額	0 円	投資有価証券満期償還
基金積立額	0 円	投資有価証券新規購入
	9,941 円	償却原価法による基金組入
令和7年度末 基金額	1,188,941,001 円	

(ウ) 基金運用実績

運用方法	国債・地方債・政府保証債を自家運用
債券保有数	11 銘柄
受取利息配当金収入	9,854,700 円

(エ) 助成事業実施状況

県内の社会福祉団体への助成（民間社会福祉活動助成事業）
団体：28 団体 事業数：30 事業 金額： 4,121,772 円

⑤福祉の保険の周知と事故防止への取組

全国社会福祉協議会の補償制度「しせつの損害補償」、「社協の保険」、「ボランティア活動保険」について、会議・研修会資料等へ広告を掲載し周知に努めた。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度）目標数値及び達成状況

評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

A	数値が計画の目標値を達成
B	数値が策定時の数値と目標値の差の8割を達成（※）
C	2020年度策定時の数値以上B未満
D	策定時より数値が後退

※2023年度開始の事業については、目標値の2/3以上達成をBとする

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
1	I 包括的な支援体制の構築	1 地域における総合的な支え合い活動の創出	(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築	地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	31か所	35か所	全市町村での策定	35か所	35か所	A
2				(新) 包括的な支援体制の構築における市町村社協の取組	2023年度開始	14か所	群馬県福祉プランの数値目標と同一	10か所※	4か所	D
3			(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	住民による社会参加の場（ふれあい・いきいきサロン等）	2,487か所	3,000か所	直近5年間の増加率の約2倍	2,898か所	2,469か所	D
4				(新) 企業等SDGs活動支援センターへの企業等登録件数	2023年度開始	32か所	県産業政策課が選定している「SDGsビジネスプラクティス」選定企業のうち地域貢献／地域共創型ビジネス企業数	22か所※	27か所	B
5		2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	(1) 権利擁護体制の構築	(新) 中核機関設置市町村数	2023年度開始	35市町村 (2024年度中)	群馬県福祉プランの数値目標と同一	28市町村※	35市町村	A
6				法人後見事業実施社協数	3か所	15か所	2021年度当初実施予定の5か所とあわせて年間2か所で実施	13か所	15か所	A
7			(2) 生活困窮者等への支援	支援プラン策定件数	29件	166件	2022年度の策定件数を基準とし、毎年度1.2を乗じた件数	139件	249	A
8				(新) 就労支援プラン対象者のうち就労・増収者数の割合	2023年度開始	75%	国が設定するKPIの目安値と同一	50%※	52%	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
9	I 包括的な支援体制の構築	2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	(2) 生活困窮者等への支援	(新) ひきこもりオンラインサロンへの当事者および家族の参加者数	2023年度開始	50名	県実施の「ひきこもりに関する実態調査」にて把握した支援を受けていないひきこもり状態の方の人数の10%(当事者及び親)	34名※	—	
10				総合支援資金貸付件数	9件	14件	新型コロナウイルス感染症特例貸付終了後の貸付件数の増加を見込んで、2020年度の1.5倍増	13件	9件	C
11			(3) 社会福祉法人等の連携強化	現況報告書の「地域における公益的な取組」記載率 (A層)	72.6%	100%	5年後には全ての法人で公益的な取組を実施し、現況報告書へ記載	89%	85.9%	C
12				社会福祉法人等連絡会の設置 (B層)	11か所	35か所	全市町村で設置 (広域での設置を含む)	31か所	20か所	C
13				群馬県ふくし総合相談支援事業加入法人 (C層)	183法人	250法人	誰もが身近なところで相談が可能となるように全法人の50%が加入	237法人	190法人	C
14				なんでも福祉相談員数 (C層)	360名	500名	いつでも相談に応じられるよう、各参加法人2名以上の相談員を配置	472名	466名	C
15				第三者評価事業評価機関数	3か所	8か所	安定的な評価実施のため、年1か所ずつ増加	7か所	5か所	C
16				第三者評価事業年間受審施設数	2か所	16か所	1評価機関につき年2か所の評価実施	14か所	3か所	C
17				(新) 『プレ評価』年間受審施設数	2023年度開始	36か所	1評価機関につき年4か所 (本評価受審施設数の2倍) の評価実施	24か所※	7か所	C
18	II 福祉人材の確保・育成・定着	1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	就職者数	187名	300名	現状の就職者数の60%増	278名	359名	A
19				新規求職者数	1,501名	2,350名	過去4年間は毎年、求職相談数の50%が新規求職登録していることから求職相談目標値4,700人の50%として算出	2,181名	1,808名	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
20	Ⅱ福祉人材の確保・育成・定着	1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	求職相談数	3,916件	4,674件	求職相談数の過去4年間の平均値 3,595件に対して30%増	4,523件	10,316件	A
21				介護福祉士登録数	331名	497名	現状の登録者の50%増	464名	503名	A
22				保育士登録数	22名	388名	群馬県『潜在保育士等調査』(2020年2月)における無職の保育士数970人の40%として算出	315名	274名	C
23				(新) 保育士就職数	2023年度開始	150名 ※2023年度からの累計数	県との委託契約(50件/年)の3年分	100名※	155名	A
24				福祉の仕事相談会参加者数	269名	404名	現状の参加者数の50%増	377名	293名	C
25				LINE登録者数	2021年度開始	1,500名	年間300名の増加。 5年で1,500名	1,200名	1,930名	A
26				介護福祉士 修学資金貸付事業	101名	144名	県内養成校9校 定員480名の30%が利用	136名	111名	C
27				介護福祉士実務者研修受講資金 貸付事業	64名	82名	2020年度実績数の年5%増	79名	100名	A
28				離職した介護人材の再就職準備 金貸付事業	31名	78名	2020年度実績数の年20%増	69名	29名	D
29				介護分野就職支援金貸付事業	2021年度開始	85名	2021年度貸付予定数58名の年10%増	68名	33名	C
30				障害福祉分野就職支援金貸付事業	2021年度開始	17名	2021年度貸付予定数11名の年10%増	14名	11名	C
31				保育士修学資金貸付事業	43名 (2019年度)	140名	県内養成校10校 定員1,405名の10%が利用	100名	55名	C
32				潜在保育士就職準備金貸付事業	9名	61名	県『潜在保育士等調査』(2020年2月)において「今後、保育園で働きたい」と回答した301名の20%の利用	51名	15名	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
33	Ⅱ福祉人材の確保・育成・定着	2福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	福祉従事者向け研修参加者数	950名	1,200名	現状の参加者数の25%増（階層別研修、資質向上のための各種研修会の実施。県委託研修は除く）	1,150名	1,459名	A
34				ソウエルクラブ加入法人数	103法人	123法人	年間4法人入会	119法人	106法人	C
35	Ⅲ災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化	「災害時の相互応援に関する基本協定」に基づく図上訓練の継続実施	5地区	10地区	年1回、地区持ち回り訓練を継続し、新たに5地区で実施	9地区	10地区	A
36				モデルBCP策定検討会の継続実施	3法人	20法人	県内20法人にて モデルBCPを策定	17法人	21法人	A
37				BCP策定アドバイザーの派遣事業にかかるアドバイザー養成	2021年度開始	20名	モデルBCPを策定した法人に各1名のアドバイザーを養成	16名	49名	A
38				モデル福祉避難所立ち上げ訓練の計画・実施	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の立ち上げ訓練を実施	4か所	14カ所	A
39				市町村を対象とした福祉避難所運営訓練や研修の実施	2圏域	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	12圏域	A
40			(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の機能強化	保健所圏域単位での保健・医療分野との合同訓練や研修の実施	3圏域	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	11圏域	12圏域	A
41				ぐんまDWAT登録者数の確保・維持、質の向上	236名	300名	県内の12保健所圏域に各20名のチーム員配置を目指すとともに、本部員、広域での調整員の配置等により整備	288名	306名	A
42				災害福祉コーディネーター（仮称）の育成	2021年度開始	12名	県内の12保健所圏域全てに専門スタッフを育成	10名	16名	A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
43	Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の機能強化	社協の災害ボランティアセンターと連携した訓練の実施	2021年度開始	5地区	県総合防災訓練と併用し、年1回の連携訓練を実施	4地区	5地区	A
44				ぐんまDWATの専門性向上のための分野別研究会や訓練の実施	高齢者:3回 障害者:3回 子ども・女性:3回	高齢者:15回+訓練1回 障害者:15回+訓練1回 子ども・女性:15回+訓練1回	DWATの資質向上を図るため、年1回以上の研究協議を継続開催し、実行性を高めるための訓練を計画・実施	41回	高齢者:17回 障害者:19回 子ども・女性:15回 計:51回	A
45				市町村を対象とした避難所運営訓練や研修の実施	2圏域	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	12圏域	A
46		2 災害ボランティア活動への支援	(1) 多様な災害ボランティア関係団体との連携	災害支援に関する会議、研修会の参加団体数の増加（多様な関係機関・団体とのネットワークづくり）	市町村社協:27 関係機関:23 合計:50団体	市町村社協:35 関係機関:75 合計:110団体	全市町村社協の参加のほか、毎年10団体の増	98団体	市町村社協35 関係機関:65 合計:110	A
47				市町村行政と市町村社協の協定の締結	8か所	35か所	全ての市町村社協で協定を締結	30か所	27カ所	C
48				青年会議所と市町村社協の協定の締結	1地区	12地区	全ての青年会議所にて協定を締結	10地区	11地区	B
49				ぐんまDWATや福祉専門職等との連携した合同訓練の実施	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の連携訓練を実施	4か所	5カ所	A
50			(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援（市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施か所）	市:12か所 町村:1か所 （累計）	市:12か所 町村:6か所	（市）群馬県総合防災訓練による年1回の訓練の継続実施（町村）年1回の設置・運営訓練の実施	17か所	市:12カ所 町村:21カ所	A
51				市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成支援	15か所	35か所	全ての市町村社協で設置・運営マニュアルを作成	31か所	27カ所	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
52	Ⅲ災害福祉支援体制の強化	2 災害ボランティア活動への支援	(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	市町村社協BCP策定支援	10か所	35か所	全ての市町村社協でBCPを策定	30か所	30か所	B
53				地域における避難行動要支援者見守り推進事業の推進	2021年度開始	6か所	県内6市町村で事業を推進 (2か年×3か所)	5か所	5カ所	B
54		3 感染症に対応した体制の整備	(1) 感染症発生時の社会福祉施設への支援	感染症対策モデル BCP策定支援	3法人	10法人	県内10法人にてモデルを策定	9法人	12法人	A
55				応援職員の追加募集によるマンパワーの確保	高齢156事業所 障害 85事業所	高齢200事業所 障害100事業所	応援派遣の派遣が可能な事業所を拡大（高齢者施設:約30%増、障害者施設:約20%増）	※令和5年度で事業終了	高齢160事業所 障害 95事業所	
56				応援職員の専門性向上のための研修会の実施	高齢:3回 障害:2回	高齢:10回 障害:10回	応援職員の資質向上を図るため、年1回以上の研修を継続して実施	※令和5年度で事業終了	高齢:6回 障害:11回	
57				応援派遣を想定した図上訓練の実施	2021年度開始	5地区	年1回、地区持ち回り訓練を開催し、5地区で実施	4地区	6地区	A
58			(2) 感染症予防に向けた取組の強化	感染症に対応した避難所運営研修の実施	2021年度開始	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	12圏域	A
59				感染症に対応した災害ボランティアセンターの設置・運営研修（市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練）	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の訓練を実施	4か所	6カ所	A
60				ICT(SNSやオンライン)を活用した情報共有会議の実施	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の訓練を実施	4か所	5カ所	A
61		Ⅳ県社協の組織基盤の強化	(1) 人材育成の強化	社会福祉士資格取得割合	39.3% (13名/33名中)	70%以上 (24名)	11名増、取得率70%以上	65.3% (22名)	42.9% (15名/35名)	C
62				自己啓発助成制度の活用	3件 (2016～2020年度)	10件	助成制度の内容拡充により毎年2件、5年で10件	9件	9件	B
63				人事評価制度の導入	試行的に実施	2023年度から本格導入	2023年度から本格導入	実施	実施	A

No	基本目標	推進項目	具体的な アクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8 割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
64	IV県社協 の組織基 盤の強化	1 組織体 制の強化	(2) 働き方 改革の推進	衛生委員会等の機能充実	12回	24回	衛生委員会及び産業医による 巡視・相談回数を合わせて24 回	22回	27	A
65				職員の年間平均有給休暇の取得 数	9.6日 (49.6%)	14日 (70%)	職員平均年間取得を14日と し、付与日数に占める取得率 70%	13.6	13.7	B
66				職員一人あたりの年間平均時間 外勤務時間数	101時間 (2017～ 2020年度平均)	75時間	過去4年間の平均時間外数101 時間の25%削減	80	67	A
67				職員一人あたりの テレワーク 目 標日数	2021年度開始	週2日	情報通信基盤、勤怠管理、コ ミュニケーション等を考慮し 週2日	2	週0.009日	C
68				男性職員の育児休業等取得率	0% (2018～ 2020年度)	100% (対象者は全て取 得)	男性職員の育児休業等取得率 100% (育児休業・育児短時間勤 務・部分休業)	80%	67%	C
69				男性職員の産休5日以上の取得	0% (2018～ 2020年度)	100% (2021～ 2025年度)	男性職員の産休5日以上の取 得率 100% (配偶者出産休暇・育児参加 休暇)	80%	100%	A
70		2 経営基 盤の強化	(3) 情報発 信の強化	ホームページの年間閲覧数	170,104件	236,000件	2022年度実績の10%増	222,821件	142,964件	D
71				多様な広報媒体の活用	媒体数3件 ・福祉ぐんま (機関誌) ・ホームページ ・YouTube	媒体数6件 運用ルール の策定 (2023年度中)	プロジェクトチームの編成に よ りSNSユーザーに合った LINE、Facebook等の広報媒 体数を増設	5件	5件	B
72			(1) 財政基 盤の強化と 既存事業の 見直し	会 員 数	5,405か所	5,505か所	毎年20か所の増	5,485か所	5,435件	C
73				特別賛助会員数	1か所	21か所	毎年4か所の増	17か所	17か所	B
74				バナー広告	1か所	15か所	毎年3か所の増	13か所	6か所	C
75				封筒広告	2021年度開始	5か所	民間企業等に働きかけ毎年1 か所の増	4か所	5か所	A
76			(2) ガバナ ンスの強化	会計専門家による 外部検査の継 続実施	4回	4回	四半期ごとに継続実施	4回	4回	A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	B評価ライン (目標値との差の8割) ＝前年度目標	2025年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
77	IV県社協の組織基盤の強化	2経営基盤の強化	(2) ガバナンスの強化	全社協経理研修	(中級) 7名 (21.2%) (初級) 21名 (63.6%)	(中級) 17名 (51.5%) (初級) 33名 (100.0%)	中級受講者を51.5%、初級受講者を100%	(中級) 15名 (45.5%) (初級) 31名 (94.0%)	(中級・上級) 13名 (39.4%) (入門・初級) 30名 (90.9%)	C
78			(3) 関係団体との連携強化	市町村社協部会	2回	2回	各部会における協議を2回以上実施	2回	2回	A
79				民生委員児童委員部会	群馬県民生委員児童委員協議会として活動		各部会における協議を2回以上実施	2回	3回	A
80				経営者部会	群馬県社会福祉法人経営者協議会として活動		各部会における協議を2回以上実施	2回	7回	A
81				障害福祉部会	2回	2回	各部会における協議を2回以上実施	2回	2回	A
82				高齢福祉部会	0回	2回	各部会における協議を2回以上実施	2回	0回	D
83				子ども福祉部会	2回	2回	各部会における協議を2回以上実施	2回	1回	C
84				ボランティア・市民活動部会	0回	2回	各部会における協議を2回以上実施	2回	1回	C
85				更生保護部会	群馬県保護司会連合会として活動		各部会における協議を2回以上実施	2回	12回	A
86				部会を横断した連携や協議	1回	1回	部会横断による協議の場の設置を継続	1回	0回	D

評価対象目標数値の達成状況

基本目標	評価目標数	A	B	C	D	その他
Ⅰ 包括的な支援体制の構築	17	4	1	9	2	1
		23.5%	5.9%	52.9%	11.8%	5.9%
Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着	17	7	0	9	1	0
		41.2%	0.0%	52.9%	5.9%	0.0%
Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	26	19	3	2	0	2
		73.1%	11.5%	7.7%	0.0%	7.7%
Ⅳ 県社協の組織基盤の強化	26	11	4	8	3	0
		42.3%	15.4%	30.8%	11.5%	0.0%
計	86	41	8	28	6	3
		47.7%	9.3%	32.6%	7.0%	3.5%

A 及び B の合計 (その他を除く割合)	49
	59.0%